

一般回線用非常通報

WhiteLock110A

取扱説明書



製品をお使いになる前に、本書をお読み下さい

PDF を画面でご覧の方は目次や参照ページをクリックすると該当ページにジャンプします。
また文章からジャンプする箇所もあります。

重要事項

本製品は、医療機器、原子力施設機器、航空機器、交通関連機器など、ひとたび事故が起こると生命、財産に関わる重大な損害を与えるおそれのあるシステムには使用しないで下さい。
本製品を組み込んだお客様の製品に起因して発生したいかなる損害に対しても、弊社では一切の責任を負いません。
本製品の仕様、デザインなどは改良のため予告なしに変更する事があります。

はじめに（必ずお読み下さい）

この度は、「WhiteLock110A」をご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品は、外部からの入力信号に応じて一般電話回線から携帯電話機、PHS 電話機、一般電話機などに音声メッセージや文字メッセージ（SMS メールまたはEメール）で自動通報する装置です。
この「非常通報装置 WhiteLock110A 取扱説明書」の本文中においては、「WhiteLock110A」を「WL110A」または「WL110」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

- NTT 仕様で2線式のプッシュ回線またはダイヤル回線(20PPS)、PBX(2線式外線発信回線)、ISDN回線ならTAのアナログポートが利用できます。
 - ビジネスホン回線、ホームテレホン回線での使用は出来ません。また、これらの回線に接続して通報動作をしますと、WL110Aが故障します。
 - Eメール通報する際には「メール送信システム」サービスをご使用下さい。SMSメール通報する際にはドコモの「SMS（ショートメッセージサービス）メール」を使用します。
 - WL110Aの誤作動、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失については、当社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。
 - WL110Aお使いになる前に、本書をよくお読み頂き、手順に沿って動作を確認の上ご使用下さい。特に通報先の電話番号の間違ひには十分ご注意ください。この説明書は、本製品の側などにいつも手元においてお使いください。
 - WL110Aは付属品を含め、改良のため予告なく装置全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - WL110Aは、ご購入直後の状態ではそのまま使用することができません。弊社製品サイトより設定用ソフトウェアをダウンロードしていただき、パソコンにインストールし設定を行う必要があります。また、音声通報する場合は録音も行ってください。
 - 設定後は本書の説明にしたがって動作確認をしてからお使いください。
- ※本取扱説明書に掲載のパソコン画面は、Windows7（Professional サービスパック1）を例にしてあります。
※本取扱説明書に掲載の設定ソフトはWhiteLock110設定ソフト Ver1.04 が記載されています。

音声メッセージ通報を受ける際の注意事項

通報先は、**呼出音を3回以上鳴らしてから**受話器をとってください。受話器をすぐに取りますと、何回も通報を繰り返します。また、音声メッセージも流れません。

携帯電話で音声メッセージ通報を受ける際の注意事項

1. 通報先の携帯電話がiモード通信中で、音声着信を「着信応答」にしている場合などに「おかけになった電話はただいま呼び出しています。しばらくお待ち下さい。」とアナウンスが流れます。この間、通報先の着信音は鳴っているのに、電話をかけた側には呼出音（プルル音）が聞こえない状態です。呼出音（プルル音）が聞こえまないと、WL110Aは回線が繋がった事を認識せず、**音声メッセージを流しません。**

【解決方法】 通報先は5回くらい呼出音を鳴らしてから電話に出ますと正常通報します。

2. 通報先の携帯電話が『メロディコール』（ドコモ）又は『待ちうた』（au）サービスに契約されていると、電話をかけた側には、呼出音（プルル音）に音楽が混じって（又は音楽のみ）聞こえます。呼出音（プルル音）が聞こえまないと、WL110Aは回線が繋がった事を認識せず、**音声メッセージを流しません。**

【解決方法】 通報先の携帯電話機から設定変更すれば正常通報します。着信電話番号（通報装置から発信する番号）の設定をプルル音に変更して下さい。

製品の最新情報、バージョンアップはインターネットでご確認できます。

製品ホームページ <http://www.adocon.jp/>

* 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

* 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

安全にお使いいただくために

本製品の誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐために、本文中に示す「警告マーク」および「注意マーク」の意味を十分理解していただき必ずお守り下さい。

この取扱説明書では動作設定および操作の手順について解説しています。内容をご理解いただいたうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

警告マーク及び注意マーク表示について



警告

この表示の警告事項を無視して本製品の取り扱いをすると、本製品が誤動作し、人命、身体に関わる死傷事故、財産に対する損害事故が生ずる可能性があります。また、法律違反になる場合があります。

弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。



注意

この表示の注意事項を無視して本製品の誤った取り扱いをしますと、本製品が破損、又は通信不能や誤動作する場合があります。

弊社では、この事に起因するいかなる損害に対し一切の責任を負いません。

警告と注意



警告

本製品は、人命や身体、財産に関わる重大事故の発生するおそれのある設備や機器としての使用や、それらに組み込んで使用しないで下さい。また、それら施設の周辺で使用しないで下さい。

電波による誤動作を引き起こす可能性がある医療機器の近くでは使用しないで下さい。

航空機、原子炉施設などの重要施設等での使用はしないで下さい。

本製品を使用したシステムを設計する場合は誤動作防止、火災発生対策など安全設計をして下さい。

軍事目的（武器、テロ行為）や、軍事関連施設では使用しないで下さい。

本製品は、日本国内仕様となっていますので、海外での使用は出来ません。

本製品を使用するシステム、機器の安全対策を十分に行って下さい。

以下のような環境あるいは、本製品の定格や仕様の範囲を越えた使用はしないで下さい。

- ・本製品は精密機器です。塵・ほこり・水滴等により故障することがあります。
- ・振動や衝撃が加わる場所。高温、低温になる場所や温度差が急激に変化する場所、閉め切った車内、ストーブ、ヒータ、冷凍庫、本体の放熱を妨げる場所など。
- ・湿度や水気が多い場所、浴室、台所の流しや湯気の当たる場所、雨や雪のかかる屋外、直射日光が当たる場所。
- ・強い電波や磁力、静電気が発生する場所。腐食性ガスの発生、化学物質の付着するおそれのある場所。

以下のような取扱いは絶対にしないで下さい。

- ・本製品を落下などの衝撃を加えないで下さい。
- ・本製品の上には、重い物、液体などを置かないで下さい。
- ・異常発熱や発煙の原因となる為、本製品内に金属などの異物が入らないようにして下さい。
- ・電源供給線の誤配線が無いようにして下さい。
- ・手や体が電源部に接触すると感電する事がありますので、ご注意下さい。
- ・煙が出るなど、異臭がした場合は直ちに電源供給を停止し使用を中止して下さい。
- ・感電の恐れがありますので、電源を入れた状態では施工しないでください。
- ・本体は、屋内での使用を前提に設計されています。屋外でご使用の際には使用条件定格内になるように工夫してご使用ください。
- ・本体内部に異物等が入らないようにご注意ください。



注意

本体の分解・改造は行わないでください。本体内部は静電気に極めて弱い部品が使用されています。本体に触る前に人体の静電気を逃がしてください。

異常発熱や発煙を防止するため、本製品の保障特性・性能の数値に少し余裕を持たせて使用してください。

本体もしくはそれに接続されている部分から異臭がした場合や、過熱や煙が出たりする場合は、ただちにご使用を止め、電源を切り、取り外してお買い上げの販売店、または弊社までご相談ください。

本製品を長期間使用しない場合は、購入時の箱に入れて保管して下さい。

本書の内容のコピーや転載を無断で行わないで下さい。著作権法により禁止されています。

AC アダプタは必ず付属品をご使用ください。他の製品の流用は絶対にお止め下さい。

通報装置は、登録された電話番号が正しく設定されているかどうか認識できません。従って、誤った電話番号を登録されると内容によっては多額の電話代がかかる場合があります。設定後には動作試験（メール通報の場合メールの受信を確認してください）を必ず実施してからご使用下さい。また通報先に登録してある電話番号を解約された際にも、通報装置の設定修正・動作試験を行ってください。

設置場所について（必ずお読み下さい）

本体を次のような場所に設置しないでください。動作が不安定になるなど、おもわぬ火災や故障の原因になる場合があります。

- ・急激な温度変化や湿度変化がある場所。
- ・結露するような場所。
- ・直射日光が当たる場所。
- ・水気、火気のある場所。
- ・粉塵等のほこりの多い場所。
- ・不安定な場所や振動がある場所。
- ・強い磁気や電磁波を発生する機器の近く。
- ・腐食性ガスのある場所。
- ・気化した薬品や化学反応をおこす様な場所。空気中に塩分が含まれている場所。
- ・鉄粉がある場所。

お願い

本体やケーブル等は、小児の手が届かない場所に保管、設置してください。長期間にわたって無人で使用する場合は、必ず定期的に保守・点検を行ってください。

初期不良について

初期不良は商品到着後 14 日未満です。また、弊社の発送間違いの場合も交換させていただきます。なお、初期不良で売り切れ商品につきましては、同機種に交換できない場合があります。その場合、修理対応とさせていただきますか、弊社によるお引取りにて対応させていただきます。

製品保証について

本製品の保証期間は、ご購入の日から 1 年間です。保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。ただし、「警告と注意」の項に掲げた環境や使用状況での故障については、保証期間であっても有償修理となります。保証に関する詳細は製品に添付の保証書をご覧ください。

雷による故障について

雷による故障は保証期間内であっても保証対象外となります。対策として、回線側と電源側に避雷器を取り付けられる事をおすすめします。弊社では避雷器の販売をしておりませんので別途ご用意下さい。

製品修理について

本製品の正しいご使用方法にも関わらず発生した故障に対し、製品の保証期間中（ご購入後1年間）は無償で修理いたします。保証期間を過ぎている場合は有償修理となります。

修理に出される前には、弊社ホームページの製品別 Q&A に同様な事例がないかご確認下さい。また、もう一度故障状況もご確認いただき、弊社営業担当者まで事前にご連絡をお願いします。

修理品は宅配便などで弊社までご送付下さい。

修理内容の明記

修理に出す場合は、必ず故障の内容や状況を具体的に明記し、修理品と一緒に送って下さい。

修理料金について

修理料金は、技術料、部品代、送料で構成されます。

送料について

保証期間内：返送費用は弊社負担とさせていただきます。

弊社までの送料はお客様でご負担下さい。

保証期間外：お客様の負担となります。

※出張修理は行いません。

ご連絡、お問い合わせ先

各種問い合わせは、下記の連絡方法がございます。また、弊社のホームページには技術情報ならびに最新情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。

インターネットメールによるお問い合わせが、簡潔で間違いが無く、内容が伝えやすいのでとても便利です。

技術的なお問合せに関しては、開発環境や問題となっている事柄などを具体的にとりまとめた後にご連絡下さい。

■ インターネットメール

Eメールアドレス：eiyou@adocon.co.jp

宛先：株式会社アドコン 営業担当宛

■ 電話

電話番号：0852-54-2036

受付時間： 9：00 ～ 12：00

13：00 ～ 17：00

※営業日は平日のみとなっております。

■ FAX

FAX番号：0852-54-2196

宛先：株式会社アドコン 営業担当宛

■ 郵便

郵便番号：690-2101

住所：島根県松江市八雲町日吉3-24

宛名：株式会社アドコン 営業担当宛

■ ホームページ

弊社ホームページには製品毎のカatalog、取扱説明書ならびに新着情報、Q&A などが掲載されていますのでご覧下さい。

ホームページアドレス <http://www.adocon.jp/>

目 次

ご使用の前に.....	8
略称、商標について	8
制限事項	8
接続する電話回線について	8
本体の操作について	8
本体内蔵の充電池について	8
製品概要と特徴.....	9
概要	9
特 徴	9
パッケージ内容の確認	10
PBX（内線交換機）での使用について	11
使用出来る PBX（内線交換機）の確認方法	11
PBX の仕様で確認するところ	11
その他の注意点	11
各部の名称とその機能.....	12
本体外観	12
動作設定.....	13
設定ソフトのインストール	13
ホームページから「ダウンロード」する場合	13
CD-ROM からインストールする場合	15
設定に使用するパソコン	15
設定ソフトウェアの Windows7 対応について	15
設定ソフトウェアの起動	16
通報先の設定	17
通報先の種別	17
通報先の電話番号	17
外線発信番号	17
音声通報する場合	18
携帯メール（SMS メール）通報する場合	18
タダ電通報する場合	19
トーンモデムへメッセージで通報する場合	19
メール送信システムへ通報する場合	20
留守番電話サービス対応	20
通報終了条件	21
全体の設定	22
電源 ON 時に 60 秒間、入力信号を無視する	22
定期通報する	22
リダイヤル回数	22
停電や復電時に通報する	23
解除呼出の方法	23
電話回線の種類	23
入力信号の接点仕様	24
入力信号の判定時間（ミリ秒）	24
送信メッセージの編集	24
携帯メール（SMS メール）通報する場合	25
トーンモデムへ通報する場合	25
メール送信システムへ通報する場合	26
入力信号 1～4 の ON / OFF	26
全解除	26
停電・復電	26
定期通報	26

文字数	26
通信ポートの確認	27
通信ポートを自動的に検出する	27
通信ポート指定	27
本体とパソコンの接続	27
設定内容の転送	27
ポートが使用中だった場合	30
本体から設定内容を読み込む	30
設定内容の保存と読み込み	31
録音再生	32
録音再生の概要	32
出荷時の録音内容	32
録音内容の例	32
通報時の再生例（通常通報を受けた時）	32
録音再生の操作方法	33
動作確認	34
呼出の種類と通話時間	35
通報の種類	35
音声通報	35
携帯メール	35
タダ電通報	35
トーンモデムへ通報	35
メール送信システムによる E メール通報	35
1 回の通報にかかる通話時間	35
標準設定の時	36
全解除呼出設定	36
個別解除呼出	37
個別解除呼出と全解除呼出を両方設定している場合	37
停電時発信	38
定期通報	38
通報終了の条件	39
1 つの通報先を終了する条件	39
複数の通報先を終了する条件	39
通報を終了するまでに発生した警報	40
リダイヤルについて	40
設置方法	41
設置場所を決める	41
接続工事	41
本体側の電話回線	41
他の電話機や FAX などの回線と併用するとき	41
電話回線の終端に接続する場合	41
モジュージャックを分配する場合	41
入力端子接続	42
プラスチック取付足	42
センサー用電源 +V 端子	43
AC アダプタの接続	43
運転の開始	43
信号入力部の内部回路	44
通報の受信	45
受信装置	45
音声通報を電話機で受信したとき	45
携帯メールを受信する場合	45
トーンモデムの場合	45
メール送信システムを利用した場合	45

動作モニタ	46
表示モニタランプ	46
起動時	46
通報の状態から見たとき	47
ランプの点灯状態から見たとき	47
停電保証について	48
内蔵電池	48
Q & A 困ったときにご覧下さい	49
一般的なご質問	50
通報・設定についてのご質問	53
携帯メールについてのご質問	56
メール送信システムについてのご質問	57
設定ソフトについてのご質問	58
こんなときには	59
設定ソフトウェアのアンインストール	59
本体を清掃するときは	59
仕様	60
「WhiteLock110A」 本体	60
設定ソフトウェア	60
インターフェース仕様	61
外形図	61
AC アダプタ外形図	62
付録	63
文字コード	63
フリーメッセージ	63
区点コード	63
バージョン	64
更新履歴	65
索引	67

ご使用の前に

略称、商標について

記載の会社名または製品名は各社の登録商標です。

制限事項

本製品は日本国内での使用を目的に設計されています。国外でのご利用は出来ません。

接続する電話回線について

本体と**接続可能な電話回線**は下記の通りです。

1. NTT 仕様で 2 線式のプッシュ回線またはダイヤル回線です。

ADSL 回線・ISDN 回線・IP 電話・光電話等の場合は、専用の信号変換機器やモデム、TA 等のアナログポートに接続できます。

2. アナログ PBX 交換機を介して接続する場合には、NTT 仕様に準拠したものでなければなりません。

詳細は、「PBX（内線交換機）での使用について」11ページをご覧ください

本体と**接続出来ない電話回線**は下記の通りです。

1. 携帯電話機、PHS、ビジネスホン回線、ホームテレホン回線、4 線式電話機、専用線に接続することは出来ません。

注) ビジネスホン回線・ホームテレホン回線に接続して通報動作をしますと WL110A が故障します。

本体の操作について

- ・電源スイッチを OFF にした直後に ON にすると内部 CPU が正しく起動しないことがあります。電源スイッチを OFF にして、再び ON にする際には、3 秒以上待ってから ON にして下さい。
- ・電源プラグを差し込む時は、WL110A の電源スイッチを OFF にした状態で差し込んでください。
- ・設定ソフトで設定を行った後は、実際に発信させて受信できるか確認して下さい。
- ・接点毎に異なる通報先の設定はできません。
- ・出荷状態では設定されていません。この状態では入力信号が「有り」になっても通報しません。
- ・再呼出機能については、同一の通報先を複数設定することにより対応しています。

本体内蔵の充電電池について

出荷時、本体内蔵の充電電池は完全に充電されておりませんのでご注意ください。商用電源（AC アダプタ）を接続して、72 時間（3 日間）経過すれば満充電となります。

製品概要と特徴

概要

本製品は、電話回線に接続して通報を行います。接点信号が入ると、あらかじめ設定された通報先へ音声メッセージまたは文字メッセージで通報します。

特 徴

- ・ **PBX交換機にも対応**
PBX交換機の内線間の通報や、外線への通報に接続するときの発信機能を装備しています。
- ・ **接点入力4点＋センサー用電源**
入力点数が4点あり様々なセンサーや機器類が接続できます。また、センサー等の電源供給用としてセンサー用電源を装備しています。
- ・ **外部入力毎にIC録音された内容で自動通報**
圧縮無し直接録音方式で音質良好。録音は何度でも可能、録音内容は半永久的に保持。
- ・ **最大6カ所までの通報が可能**
最大6カ所までの通報先の指定が可能です。
- ・ **通報終了の条件も指定可能**
通報先毎に「必ず通報」するか「何所か1カ所」に通報できたら終了を選べます。また、リダイヤル回数も設定できます。
- ・ **メール通報はEメール、またはSMSメールが可能**
「メール送信システム」に登録することで、最大30カ所までEメール通報が可能です。または、SMS通報（通報先はドコモ携帯電話機に限る）も可能です。どちらも、メッセージ内容は入力信号ごとに登録できます。
- ・ **停電保証1時間以上を確保、バックアップ電池付き**
006P型ニッケル水素充電電池を標準添付。
- ・ **停電・復電通報を標準装備**
停電・復電通報は、設定ソフトにチェックを入れるだけです。外部から停電信号を接続する必要がありません。
- ・ **小型で制御盤内への組込が容易**
本体重量は約230gと軽量です。本体サイズも非常にコンパクトなので制御盤内への取り付けも簡単に行えます。また、プラスチック取付足も標準添付。
- ・ **入力信号の選択が可能**
入力がONになったときに通報するか、OFFになったときに通報するか、入力毎に設定が可能。設定ソフトにチェックを入れるだけで切り替えできます。
- ・ **設定用パソコンソフト（Windows XP、7 用）**
設定ソフトは、インストールも設定もとても簡単です。最新の設定ソフトは、弊社製品サイトからいつでもダウンロードしてご利用できます。製品には、通信ケーブルも標準添付しています。
- ・ **低価格**
他社の半分以下の超低価格。もう通報装置にお金をかける必要はありません。

パッケージ内容の確認

製品をご使用になる前に、パッケージに以下のものが全て揃っているか確認してください。不足しているものがございましたら、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。

名称	画像
本体	
端子台ソケット (本体に取り付け済み)	
プラスチック取付足 (ケース用ビス付)	
AC アダプタ	
イヤホンマイク	
232C 通信ケーブル (9 ピンストレート)	
モジュラーケーブル	
停電保証充電電池	
保証書	—

※上図は、実際のものと多少形状等が異なる場合がありますのでご了承ください。

※取扱説明書、設定用ソフトウェアは本製品に付属していません。

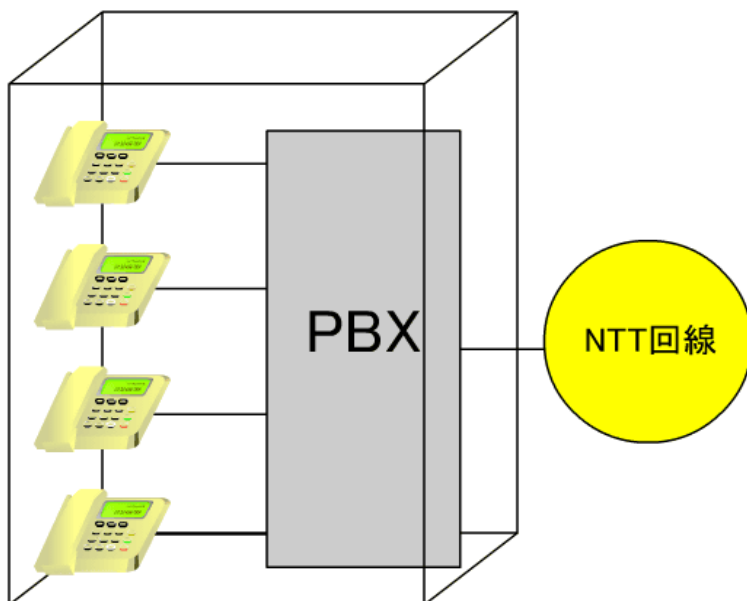
取扱説明書、設定用ソフトウェアは製品のページから最新版をダウンロードしてお使い下さい。

製品サイト <http://www.adocon.jp/>

取扱説明書（モノクロ A4 版）や、設定用ソフトウェア（CD-R 版）を別途購入して頂くことも可能です。ご購入の際には販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

PBX（内線交換機）での使用について

PBX（内線交換機）とは、同一のビル内、工場内などで使う内線電話の交換機のことです。



WL110A は NTT 仕様の回線で動作するように設計されていますので、内線でも使用することができます。しかし、中には使用出来ない PBX（内線交換機）もありますのでご注意ください。

使用出来る PBX（内線交換機）の確認方法

NTT の電話機（家電量販店・ホームセンターなどで市販している物）を内線へつなぎ、外線へ電話が掛かる事を確認下さい。外線へ電話が掛かる場合は、下記の仕様を PBX（内線交換機）管理業者、又はメーカーに確認して下さい。

外線へ電話が掛からない場合は、WL110A を使用出来ない回線と思われます（ビジネス回線など）。

PBX の仕様で確認するところ

受話器を上げたとき	DT（発信音）…400Hz の連続、または、PDT（内線発信音）…400Hz 0.25 秒 ON 0.25 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手が話中のとき	BT（話中音）…400Hz 0.5 秒 ON 0.5 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手を呼び出しているとき	RBT（呼出音）…400Hz 1 秒 ON 2 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。
相手が電話を切断したとき	BT（話中音）…400Hz 0.5 秒 ON 0.5 秒 OFF の繰り返し音が聞こえること。 数回鳴って無音になってしまう PBX は使えません。

※ 発信音が 500Hz の PBX や、話中音が 440Hz の PBX もあります。これらは PBX のメーカーに問い合わせてください。
また、上記説明で、0.25 秒のところを 0.2 秒の PBX がありますが、これは使用できません。

※ 発信音がこの条件と異なる場合、PBX の設定で変更可能な場合があります。PBX のメーカーか設置業者に問い合わせてください。

※ 音声通報の場合、通報を受けた電話機で # を押すと通報終了となります。PBX で電話を切ったあとの話中音の周波数が違う場合でも、# を押すことで通報終了とさせることができます。

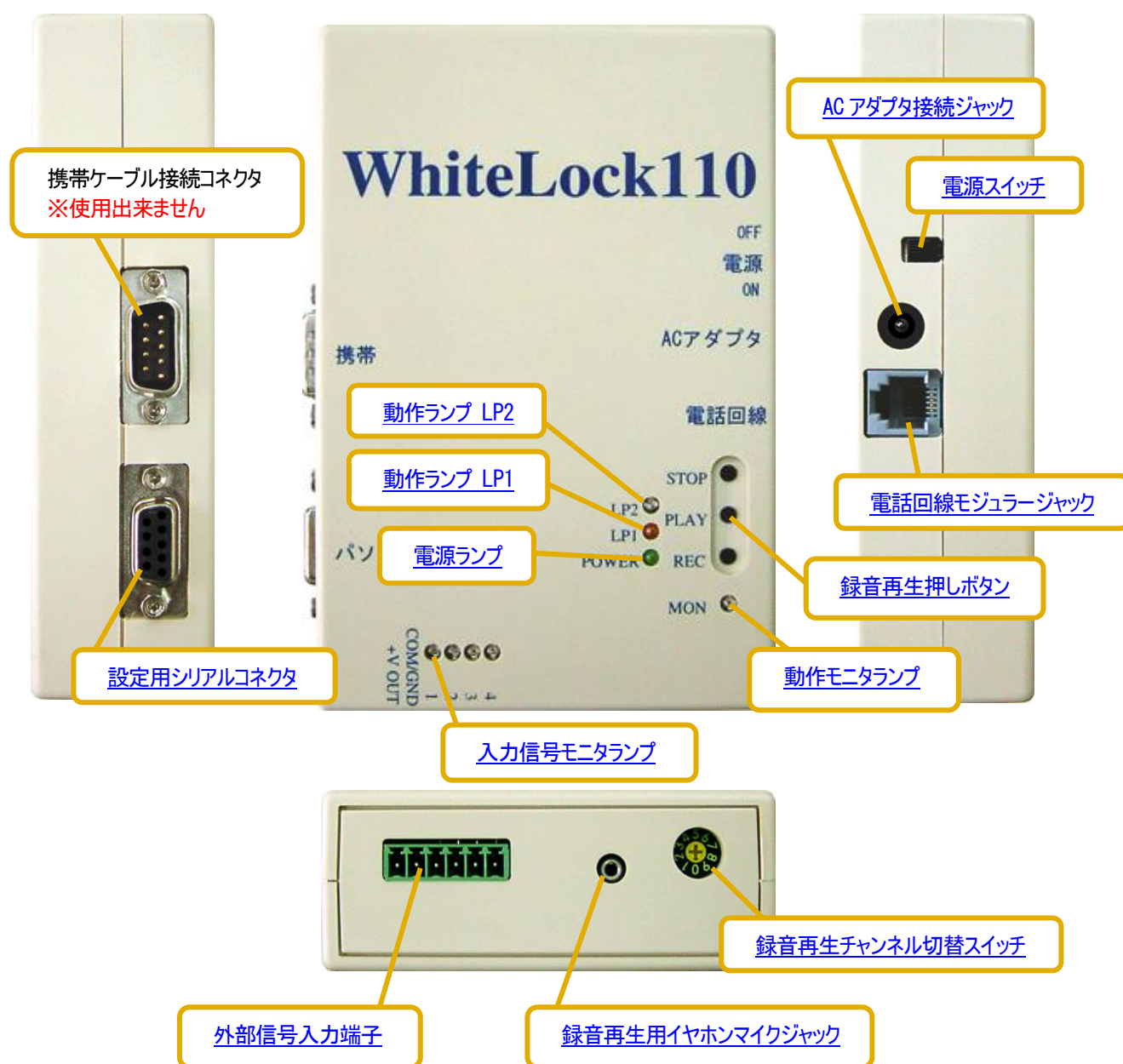
その他の注意点

外線で電話番号の最初に「186」を付けると電話がかからない PBX もあります。この場合は「186」を付けない設定で使用してください。

外線発信を行う設定にすると、通報装置は指定番号の発信を行ってから約 1 秒待ってダイヤルを開始します。外線発信番号と待機時間は設定で変更できます。

各部の名称とその機能

本体外観



動作設定

WL110A は、ご利用の前に通報動作に必要な条件や電話番号などを登録しておく必要があります。この登録は、パソコンに「設定ソフトウェア (Windows XP/7 用)」をインストールしたもので行います。設定ソフトウェアは弊社ホームページからいつでもダウンロードできます。

ご自分で設定ができないときは、パソコンを持っている方にお願ひするか、弊社に設定をご依頼ください。また、ご購入後の設定変更も承ります。(どちらも有料で、別途送料が必要です。)

設定ソフトのインストール

設定ソフトをパソコンにインストールするためには、インストーラーソフトを入手する必要があります。

ホームページから「ダウンロード」する場合

※ソフトウェアをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。

① 弊社ホームページのトップ画面の「ダウンロード」を選択します。



「ダウンロード」→「設定ソフト」→「WhiteLock110」

※「WhiteLock110A_RN」設定ソフトはご使用いただけません。

② ダウンロード画面では、「設定ソフト」を選択します。

③ 設定ソフト画面では、「WhiteLock110」を選択します。

④ ダウンロード画面の「README.txt」を開き、インストール方法の内容を確認して下さい。

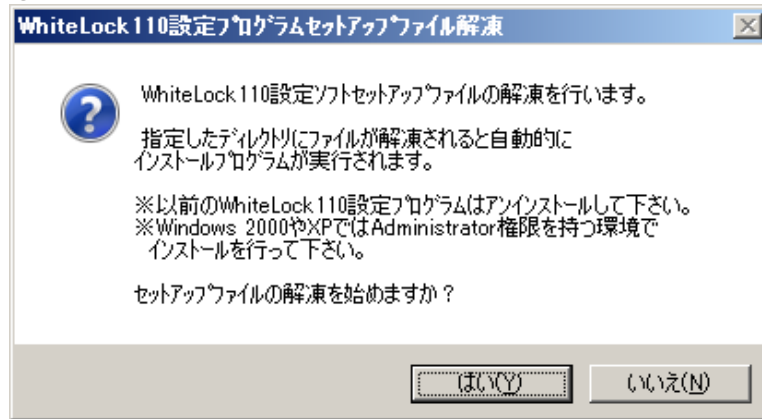
⑤ 「設定ソフトダウンロード」をクリックすると、下記画面が表示されますので、「実行」を選択します。



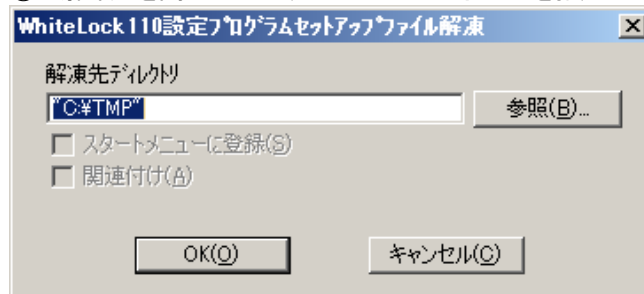
⑥ 次に、下記画面が表示されますので「実行」を選択します。



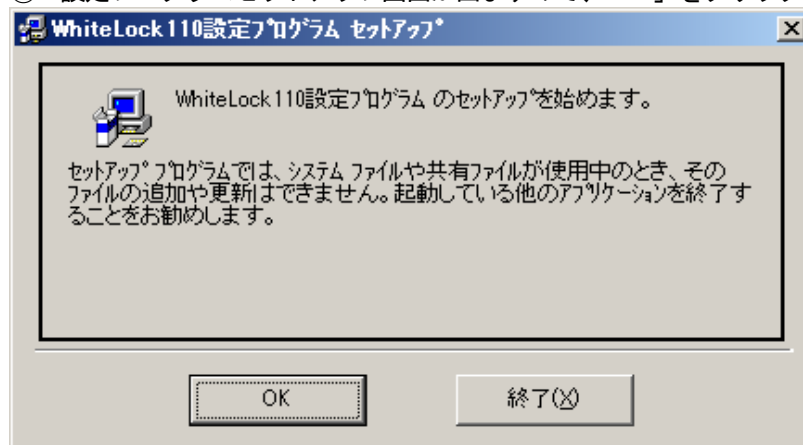
- ⑦ セットアップファイルの解凍画面がでますので、「はい」をクリックします。



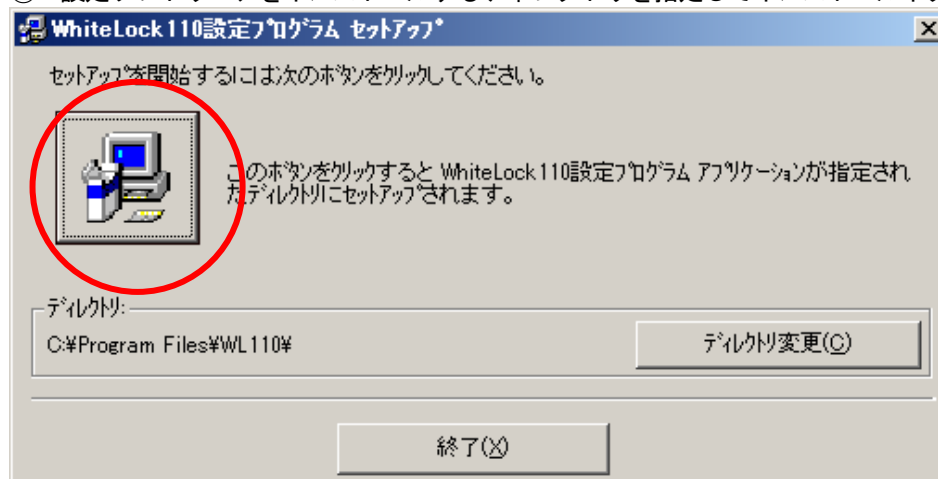
- ⑧ 解凍先を聞いてきますので適当なフォルダを指定します。下記の例では「C:¥TMP」としています。



- ⑨ 設定プログラムセットアップ画面が出ますので、「OK」をクリックします。

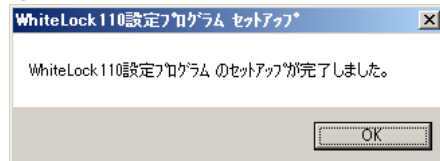


- ⑩ 設定ソフトウェアをインストールするディレクトリを指定してインストールボタンをクリックします。



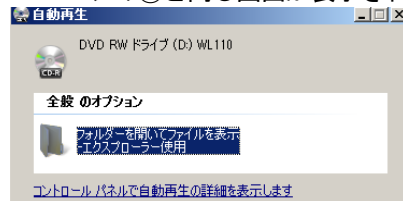
※インストール先のディレクトリを変更したい場合は、[ディレクトリ変更(C)] ボタンをクリックして変更します。

- ⑪ 設定プログラムセットアップ完了画面です。「OK」をクリックし、パソコンを再起動します。



CD-ROM からインストールする場合

※ソフトウェアをインストールする前に、実行中のアプリケーションを全て終了して下さい。
 CD-R をドライブに入れると、自動再生画面が出ます。「フォルダを開いてファイルを表示…」を選択し、「WL110ver1.04.EXE」をダブルクリックします。
 14 ページの⑦と同じ画面が表示されます。同じ手順でインストールして下さい。



設定に使用するパソコン

設定を行う場合、以下の仕様のパソコンが必要です。

CPU	Pentium150MHz 以上
OS	日本語 Windows XP、Windows 7
ハードディスク	インストールに 7MByte 程度の空きエリアが必要
メモリ	実装メモリ 64MByte 以上
モニタ	解像度 800×600 ドット以上が表示可能なカラーディスプレイ
ビデオカード	800×600 ドット以上で、256 色以上が表示可能なもの
コミュニケーションポート	COM ポート D-sub 9 ピンが必要（設定内容を転送する時に使用） ※通信ケーブルは本製品に付属しています

- * 記載の無い OS で動作する場合もございます。
- * Windows98、WindowsMe、Windows2000 のサポートは終了しました。
- * 既にインストール済みのソフトウェアやハードウェアの設定、その他の状況により、設定ソフトが正常に動作しない場合もあります。
- * パソコンのコネクタが D-sub 25 ピンの場合は、D-sub 25 ピン → 9 ピンの変換コネクタを別途ご準備下さい。
- * パソコンのコネクタに COM ポートがなく USB ポートしかない場合、USB ポート→D-sub9 ピン変換ケーブルを別途ご準備下さい。必ず変換ケーブルに付属されているドライバをインストールしてからご使用下さい。
- * 付属している通信ケーブルを本装置と接続するときプラグの固定ネジは絞める必要はありません。また、差し込み時は数ミリしかプラグが入りませんので抜けない様にご注意下さい。

設定ソフトウェアの Windows7 対応について

Windows7 対応のパソコンにシリアルポート (DSUB9 ピン) が付いていない場合は、「USB-シリアル変換アダプタ」が必要です。アダプタが Windows7 対応となっている場合でも、弊社の通報装置では利用できないものもあります。

1. サンワサプライ USB-CVRS9 を使用した場合

Windows7 にドライバをインストールしてテストした場合は、動作不可。

※設定の読み書きができません。（XP 仮想モードを作成して仮想モードにドライバをインストールした場合は動作可）

2. 株式会社コンパス・ラブ US232R-10 を使用した場合

Windows7 にドライバをインストールしてテストした結果、動作可能。

仮想 Windows 環境 (XP 仮想モード) について

Windows7 のマシンに仮想モードがインストールされていない場合は、下記を参考にしてください。

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/windows/dd920318.aspx>

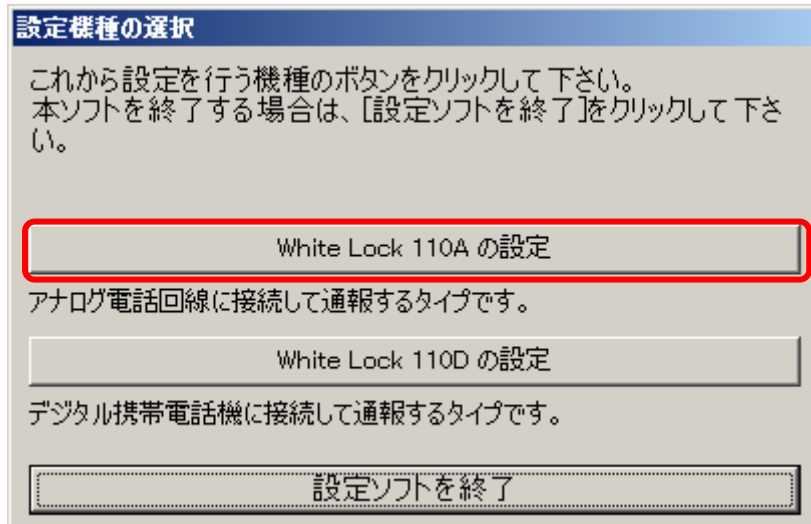
仮想モードのインストールにはパソコンの知識が必要です。

仮想モードがインストールされていない場合は、株式会社コンパス・ラブ US232R-10 を購入したほうが簡単でしょう。

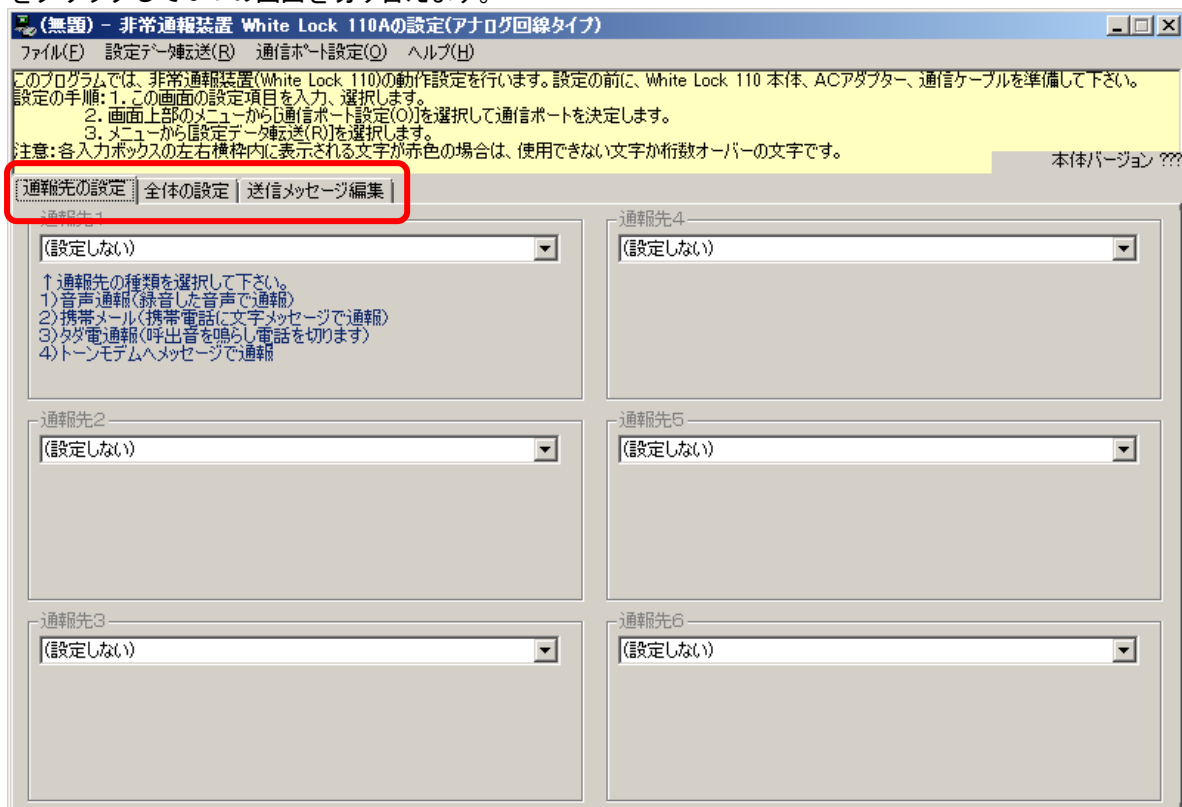
設定ソフトウェアの起動

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]の[WhiteLock110 設定]を選択して設定ソフトウェアを起動して下さい。起動すると下記の「設定機種の選択」画面が表示されます。

「WhiteLock110A の設定」のボタンをクリックします。また、誤って設定ソフトウェアを起動した場合は、「設定ソフトを終了」ボタンをクリックして終了して下さい。



「WL110A」の設定画面は、「通報先の設定」「全体の設定」「送信メッセージ編集」の3つがあります。中央上の「タブ」をクリックして3つの画面を切り替えます。



画面の各設定項目上にマウスポインタを移動させると、項目毎の説明が表示されます。

- * [通報先の電話番号]、[携帯メールセンター]など設定項目が赤い文字で表示されている場合は、必須の入力項目のときか入力に誤りがある場合です。
- * [通報先の設定]タブで通報先に「携帯メール」または「トーンモデム」が選択されていないければ[送信メッセージ編集]タブを選択できません。

通報先の設定

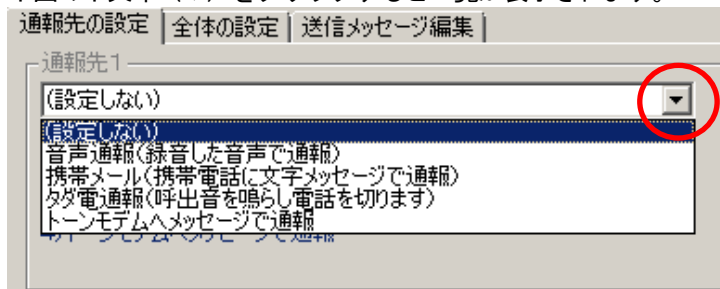
通報先の種別

通報先が最大 6 ヶ所まで指定でき、通報先ごとに種別を選択出来ます。

- ・ 録音した音声で通報する場合は、「音声通報（録音した音声で通報）」を選択します。
- ・ 携帯電話へ SMS メール通報する場合は、「携帯メール（携帯電話に文字メッセージで通報）」を選択します。
- ・ 呼出音を鳴らしてすぐ電話を切る場合は、「タダ電通報（呼出音を鳴らして電話を切ります）」を選択します。
- ・ トーンモデムへ通報する場合は「トーンモデムへメッセージで通報」を選択します。
- ・ 「メール送信システム」を利用して E メール通報する場合は、「トーンモデムへメッセージで通報」を選択します。
- ・ 設定しない場合は「（設定しない）」を選択します。

※文字メッセージ通報（SMS メール・トーンモデム・メール送信システム）は、どれか 1 つのみご使用出来ます。

下図の下矢印（▼）をクリックすると一覧が表示されます。



通報する順番は通報先 1、通報先 2、通報先 3 … 通報先 6 となります。

全ての通報先を「（設定しない）」にすると、どこにも通報しません。

※初期状態は全て「（設定しない）」になっています。

※通報先 1 から順に設定して下さい。

下記のような設定では、正常動作しないおそれがありますのでご注意下さい。

- ・ 通報先 2 以降から設定した場合
- ・ 通報先 1 から最後の通報先までの間に「（設定しない）」を入れた場合

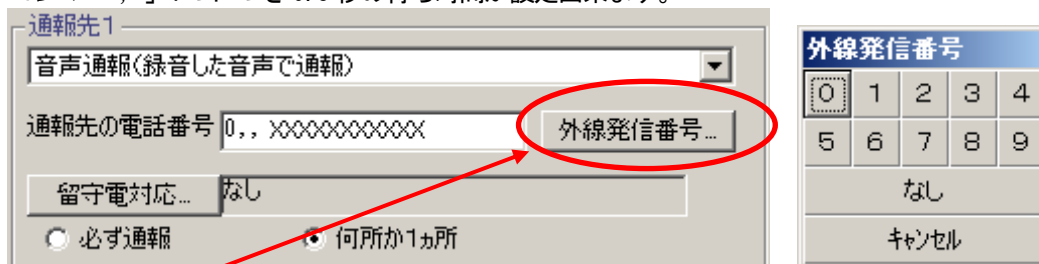
通報先の電話番号

- ・ 通報したい一般回線電話機、携帯電話、PHS の電話番号を入力します。
- ・ 通報先 1 カ所につき最大 24 桁まで入力できます。
- ・ 電話番号に、市外局番が必要な時は必ず入力してください。
- ・ ハイフン（-）は入れないで番号部分のみ入力します。
- ・ PBX 交換機の内線へ通報するときは、内線番号を入力します。
- ・ ダイヤル回線の場合は、# や * は使用できません。
- ・ 発信者番号を通知する場合は、電話番号の先頭に「186」を入力します。

外線発信番号

下図は 0 発信した後、1 秒後に XX-XXXX-XXXX へ音声通報します。

コンマ「,」、1 つにつき 0.5 秒の待ち時間が設定出来ます。



「外線発信番号…」ボタンをクリックすると、「外線発信番号」が表示されますので、該当する数字をクリックします。「0」をクリックすると「0,,」が入力され、「なし」をクリックすると、入力されたものが削除され、「キャンセル」をクリックすると、何も変更せず「外線発信番号」が閉じます。

※外線発信番号をダイヤルした後の待ち時間が 1 秒では足りない場合はコンマ(,)を必要なだけ入力してください。

音声通報する場合

音声メッセージで通報する場合、「音声通報（録音した音声で通報）」を選択します。
下図は XX-XXXX-XXXX へ音声通報します。

下図は通報先に内線番号がある場合です。
XX-XXXX-XXXX をダイヤル後 2 秒後に XXXX（内線番号）へ音声通報します。
コンマ（,）1 つにつき 0.5 秒の待ち時間が設定出来ます。

携帯メール（SMS メール）通報する場合

携帯電話へ SMS メール通報する場合、「携帯メール（携帯電話に文字メッセージで通報）」を選択します。
下図は XXX-XXXX-XXXX へ SMS メール通報します。「携帯メールセンター」をクリックし「携帯メールセンター設定」画面で「ショートメール（NTT ドコモ）」を選択し「OK」をクリックします。

※通報先の携帯電話はドコモに限ります。また、通報先は SMS 受信を許可する設定を行って下さい。

※設定後は、必ず通報先で SMS メールの受信を確認して下さい。通報先を変更した場合なども、必ず受信の確認をして下さい。

※通報先の携帯電話がドコモ以外への変更や、SMS 受信拒否の設定にした場合は、速やかに設定を変更するか、SMS 受信を許可してもらうようにして下さい。

※WL110A を接続する電話回線の契約が NTT 以外の場合、SMS センターに接続出来ない場合があります。

注) SMS メールを受信できない通報先に対する、SMS メール通報によって発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので、予めご了承下さい。

外線発信番号が必要な場合

外線発信番号が必要な場合は、「携帯メールセンターの設定」の「外線発信番号」で入力します。

*ここに「0,」が入ります。

PBX（内線交換機）からの発信の場合

ショートメッセージセンターへメッセージを送信する場合、PBX(内線交換機)と一般回線では、電話を掛け始めてから回線に繋がるまでの時間が異なります。その為、PBX(内線交換機)の場合、ショートメッセージセンターが送信メッセージをうまく受け取れないことがあります。

【 確認方法 】

まず実際に、ショートメッセージセンター（0903101655）へ電話を掛けて回線に繋がる時間を計ります。15 秒以内に回線が繋がれば、設定の変更は必要ありません。15 秒以内に繋がらない場合は、20 秒に変更が必要です。

【 設定方法 】

メッセージを送信するタイミングは「携帯メールセンターの設定」で調整します。

「文字列を編集」をクリックすると「手順文字列」が編集出来るようになります。

初期値は「0903101655D2D1D9D2D8##D4」です。これを「0903101655D2D2D9D2D8##D4」にすると、ショートメッセージセンター（0903101655）へダイヤル後、15 秒待つ所を 20 秒待つようになります。

「手順詳細」で 10 秒が 20 秒に変更したことが確認出来ます。「OK」をクリックして設定完了です。

※必ず実際に、何度か通報させてみて、きちんと受信されるか確認して下さい。

タダ電通報する場合

下図はタダ電通報の場合です。XXX-XXXX-XXXX へ発信者番号通知でタダ電通報します。

トーンモデムへメッセージで通報する場合

下図はトーンモデム（WhiteLock 集中監視モデム）の場合です。XXX-XXXX-XXXX へ文字メッセージで送信します。

メール送信システムへ通報する場合

「メール送信システム」を利用すると、Eメール通報が可能です。システムの詳細については、ホームページを参照下さい。

メール送信システムを使用する場合は、「トーンモデムへメッセージで通報」を選択します。

- ・通報先1に設定されることを推奨します。
- ・「通報先の電話番号」へは「18605055025281」を登録します。
- ・「必ず通報」にチェックを入れます。
- ・通報先2以降に音声通報を設定されておくと、メール送信システム異常時に安心です。

「メール送信システム」をご使用される場合は、ユーザー登録シートによる登録が必要です。

※ユーザー登録シートは、ホームページの「メール送信システム」内にある「利用契約」より「同意してユーザー登録へ」に進みますと、ダウンロード画面が表示されます。

※登録方法は登録シートに記載されています。

注) WL110AをNTTの「ひかり電話（光IP電話）」に接続している場合は、「メール送信システム」への通報は出来ません。

注) ユーザー登録されていても発信番号が複数ある場合は、ご使用いただけません。未登録の発信番号からの通報は、エラーとなります。

留守番電話サービス対応

音声通報で通報先が留守番電話だった場合の対応を設定します。

通報先が留守番電話サービスへ接続された場合、留守番電話のシステムによっては正常に通報が終了する場合と、リダイヤルする場合があります。ここでは、通報先の留守番電話サービスに合わせて、正常に通報が終了するよう設定を行います。

※呼出音が10秒～20秒鳴ってから自動応答が始まり、120秒以内に自動的に電話が切れる留守番電話ならば、この設定は必要ありません。

*この設定により、人が通報を受けた場合にも、音声メッセージと一緒にDTMF音（ピポパの音）が聞こえるようになります。

*WL110Aは通報を受けた先が人か留守番電話センターかの判断は出来ません。どちらであっても正常に通報が終了するよう設定します。

対応する「留守番電話サービス」を選択してください。

※留守番電話センターに接続されても、正常に通報できるか十分テストを行ってください。

※留守番電話センターのシステムに変更があった場合に、本機能が正しく動作しない恐れがあります。

※この設定をした通報先に人が電話に出た場合、90秒後音声メッセージと一緒に「#」などブッシュ音が聞こえます。

※WL110A側で呼出音（プルル音）が聞こえない留守番電話の場合、正常通報しません。たとえば通報先の携帯電話が圏外、電源OFFの場合です。

・ドコモ留守番電話サービスの場合

「ドコモ留守番電話サービス」を選択してください。

留守番電話サービスの自動応答が始まってから 90 秒後に「#1」を送信してメッセージを保存します。留守番電話サービスの設定で、呼出時間の設定(電話:1419)を 10~20 にします。

また、応答メッセージから録音までの時間が 60 秒で収まるようにしてください。留守番電話サービスの応答メッセージが長すぎると通報内容の録音ができません。

・au お留守番サービスの場合

「au お留守番サービス」を選択してください。

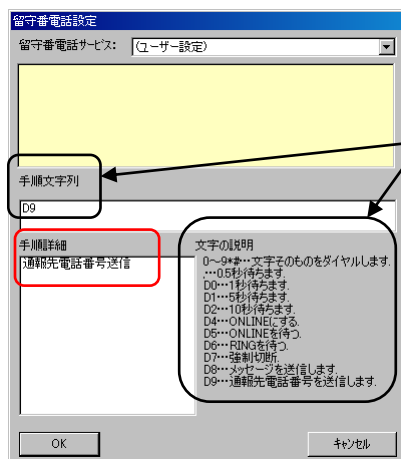
お留守番サービスの自動応答が始まってから 90 秒後に「#」、さらに 10 秒後に「#」を送信してメッセージを保存します。

・その他のお留守番サービスの場合

ドコモお留守番電話サービスに設定し、テスト通報させてみます。通報先の留守番メッセージに通報メッセージが保存され、通報が終了するか確認します。

うまくいかない場合は、au お留守番サービスに設定し、テスト通報させてみます。この場合も、通報先の留守番メッセージに通報メッセージが保存され、通報が終了するか確認します。

通報メッセージが保存されない場合や、通報が終了しなかった場合は、「ユーザー設定」でお使いのお留守番サービスに合わせて設定して下さい。



①まず、設定するお留守番サービス（又は留守番設定）に電話をかけて時間を計ります。

●お留守番サービス（又は留守番設定）のアナウンスの時間。

②『文字の説明』を参考に『手順文字列』へ入力します。

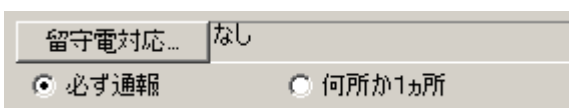
●WL110A は通報先が電話に出た時点で音声メッセージを流し続けます。アナウンスが終わって音声メッセージが録音される長さまで待ちます。

●録音メッセージを保存する為に必要なダイヤルを入力します。（#など）

③『手順詳細』で内容を確認します。

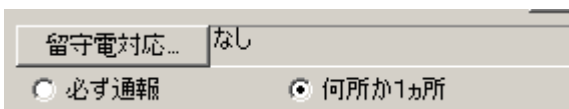
通報終了条件

通報先は、それぞれに「必ず通報」か「何所か1ヵ所」を選択できます。



「必ず通報」を選択した場合は、他の通報先にかかわらず、通報が成功するまで通報を試みます。

※「リダイヤル回数」を「制限無し」にした場合に限りです。「0~9回」に設定した場合は、通報が成功しない場合でも設定した回数以上は通報を試みませんのでご注意ください。



2ヵ所以上の通報先を「何所か1ヵ所」に選択する事が可能です。

「何所か1ヵ所」を選択した通報先が、何所か1ヶ所にでも通報が成功すれば、他の「何所か1ヵ所」を選択した通報先へは通報しません。

※この「何所か1ヵ所」の「何所か」は、「必ず通報」を選択している通報先は対象外ですのでご注意ください。

詳しくは39ページの「複数の通報先を終了する条件」を参照してください。

全体の設定

全体の設定は2つ目のタブをクリックすると表示される下図の画面で行います。

電源 ON 時に 60 秒間、入力信号を無視する

□内にチェックを付けると、電源スイッチを入れたときに 60 秒間 LP1 が低速点滅します。この間、入力信号が ON/OFF して通報しません。着信もしません。音声録音再生もできません。

※「検知センサーCM-02」を使用される場合はチェックを入れてください。

☒ 電源ON時に60秒間入力信号を無視する

定期通報する

□内にチェックを付けると、指定時間毎に通報を行います。

右側の時間は上下ボタンで 1 時間毎から 255 時間 (約 10 日) 毎に設定できます。例えば、48 時間毎に定期通報させれば、2 日毎に通報が来ますので通報装置が正常に動作しているか確認できます。

※定期通報は通報先の種類が「携帯メール」か「トーンモデム」の場合のみ通報します。

※定期通報の通報内容では、状態の確認は出来ません。

※正常に通報が終了しなかった場合はリダイヤルします。(リダイヤル回数の制限無しの場合)

※WL110A にはタイマーが内蔵されていない為、1 日で約 10 分程度のずれが生じます。

☒ 定期通報する 24 時間毎

リダイヤル回数

通報が正常に終了しなかった場合に、再度電話をかける回数を設定します。

0～9 回、または制限無しに設定できます。

注意事項

◎通報先が話し中、圏外の場合には、リダイヤルが数分で終了し、結果的に通報ができない事が起こります。通常は制限無しに設定して下さい。

◎「必ず通報」に設定してあっても、「リダイヤル回数」が設定してある場合 (1～9 回) は、「リダイヤル回数」が優先になりますのでご注意ください。

(通報例 1)

設定内容・・・通報先 ・一般回線 (1 カ所) ・必ず通報 ・リダイヤル回数 9 回

通報先が話し中の場合 → リダイヤルを 9 回した後、通報を終了しました。

(WL110A が通報を始めてから 3 分で終了)

(通報例 2)

設定内容・・・通報先 ・携帯電話機 (1 カ所) ・必ず通報 ・リダイヤル回数 9 回

通報先が圏外 (電源 OFF) の場合 → リダイヤルを 9 回した後、通報を終了しました。

(WL110A が通報を始めてから 8 分で終了)

※リダイヤル回数を設定しますと、上記のようにリダイヤルが数分で終了してしまい、正常に通報が出来ない事が起こります。 **通常リダイヤル回数は「制限無し」の設定でご使用される事をおすすめします**

停電や復電時に通報する

口内にチェックを付けると停電や復電時に通報するようになります。

停電、復電と判定するまでの時間を 1 秒、10 秒、1 分、10 分から選択できます。

詳細説明は38ページの「停電時発信」をお読みください。

解除呼出の方法

入力信号が「警報解除」の状態になったとき (機器の故障やセンサーの信号が「なし」の状態になったとき) に通報する場合に、どちらかの口内にチェックを付けます。

呼出方法についての詳細説明は35ページの「呼出の種類と通話料金」をお読みください。

※「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」は通報先の種類が「携帯メール」か「トーンモデム」の場合のみ通報します。

※「全ての入力信号が解除」の状態は、入力信号の接点仕様 (24ページ参照) に準じます。

電話回線の種類

WL110A を接続する回線の種類を設定します。

「自動判定」にすると、本体の電源を入れたときに回線の種類を自動で判定します。

※ PBX によっては自動判定できない回線もありますので、その場合は回線にあった設定を選んでください。

入力信号の接点仕様

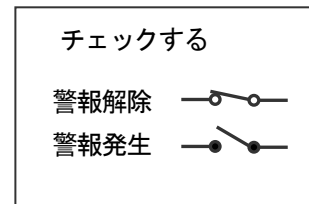
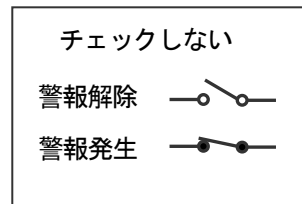
各入力信号の接点仕様を設定します。

□内チェックを入れないと、a 接点仕様になります。

□内チェックを入れたら、b 接点仕様になります。

入力信号の接点仕様

☐ 入力信号1	チェックを入れる と外部入力 OFFのときに 入力ありと判断 します
☐ 入力信号2	
☒ 入力信号3	
☒ 入力信号4	



・「警報発生」のときに短絡する信号を出力する場合はチェックを入れません。

(a 接点/ノーマル・オープン接点/メイク接点など)

・「警報発生」のときに開放する信号を出力する場合はチェックを入れます。

(b 接点/ノーマル・クローズ接点/ブレーク接点など)

※初期値ではチェックは付いていません。(a 接点)

※本体の入力信号モニタランプは、外部信号が短絡した時に点灯します。

※b 接点（チェックを入れた場合）の警報発生時の入力信号モニタランプは消灯状態です。警報解除時に点灯します。

入力信号の判定時間（ミリ秒）

各入力信号がこの時間の間、継続して ON (OFF) の時に入力変化があったとみなします。

100 ミリ秒単位で 0 ミリ秒～1310700 ミリ秒（約 21 分）まで設定できます。

※ 初期値は 700 ミリ秒です。

※ 1 秒は 1000 ミリ秒・1 分は 60000 ミリ秒

※ 入力ランプが点灯（又は消灯）したと同時に判定時間をカウントし始めます。

入力信号の判定時間(ミリ秒)

入力1	700	ms	入力信号がこの 時間の間、継 続してON(OFF) の時に入力 変化があったと みなします
入力2	1000	ms	
入力3	60000	ms	
入力4	200	ms	

送信メッセージの編集

送信メッセージの編集は 3 つ目のタブをクリックすると表示される画面で行います。設定するメッセージが、それぞれの通報先へ送信されます。文字メッセージ通報の種類によって、文字の種類や使用出来る文字が異なりますのでご注意ください。

※使用出来ない文字を入力した場合、正常に通報出来ません。

※文字の種類が 1 つしか選択出来ない為、文字メッセージ通報（SMS・トーンモデム・メール送信システム）はどれか 1 つのみご使用出来ます。

通報先の設定 | 全体の設定 | **送信メッセージ編集**

識別コード	メッセージ	文字数
テスト		
入力1 ON	入力1 ON	10
入力1 OFF	入力1 OFF	11
入力2 ON	入力2 ON	10
入力2 OFF	入力2 OFF	11
入力3 ON	入力3 ON	10
入力3 OFF	入力3 OFF	11
入力4 ON	入力4 ON	10
入力4 OFF	入力4 OFF	11
全解除	全解除	7
停電	停電	6

携帯メール（SMS メール）通報する場合

SMS メールで送信出来る文字数は、半角全角にかかわらず 50 文字です。

識別コード	テスト	文字数
入力1 ON	入力1 ON	10
入力1 OFF	入力1 OFF	11
入力2 ON	入力2 ON	10
入力2 OFF	入力2 OFF	11
入力3 ON	入力3 ON	10
入力3 OFF	入力3 OFF	11
入力4 ON	入力4 ON	10
入力4 OFF	入力4 OFF	11
全解除	全解除	7
停電	停電	6
復電	復電	6
定期通報	定期通報	8

文字の種類は「ショートメール（半角全角 50 文字）」を選択して下さい。

※文字の種類には「スカイメール」や「スカイメッセージ」の表示がありますが、サービス終了の為ご使用頂けません。

文字の種類 ショートメール(半角全角50文字)

ショートメールで送信できる文字数は半角全角にかかわらず50文字です。半角文字では大文字の英字、カタカナ、数字、一部の記号が使えます。小さいカタカナ「アイエオヤヨツ」は使用できません。使用できない文字を入力すると使用できる文字に変換されます。

識別コードには、場所や機器の名前を入れます。識別コードの後に「）」が付きま

す。下記内容で設定し、入力1が警報発生した場合には、通報先へは次のように表示されます。

「ホワイトロック110A）入力1 ON」

識別コード ホワイトロック110A

入力1 ON 入力1 ON

※「フリーメッセージ」と「区点コード」が使用できます。

※全角文字・小さいカタカナ「アイエオヤヨツ」は使えません。

トーンモデムへ通報する場合

送信できる文字数は半角 21 文字です。大文字の英字、カタカナ、数字、一部の記号が使えます。

文字の種類は「トーンモデム（半角 21 文字）」を選択して下さい。

文字の種類 トーンモデム(半角21文字)

トーンモデムへ送信できる文字数は半角で21文字です。全角文字は使用できません。大文字の英字、カタカナ、数字、一部の記号が使えます。使用できない文字を入力すると使用できる文字に変換されます。識別コードは使用できません。

識別コードは使用できません。

全角を入力すると赤字になります。また、小さいカタカナが入っていると、トーンモデムが受信出来ませんのでご注意下さい。（×ニウリヨク ○ニウリヨク）

識別コード

入力1 ON ニウリヨク1 ON

入力1 OFF ニウリヨク1 OFF

入力2 ON 入力2 ON

※全角文字・小さいカタカナ「アイエオヤヨツ」は使えません。

メール送信システムへ通報する場合

文字の種類は「ショートメール（半角全角 50 文字）」を選択して下さい。

文字の種類 ショートメール(半角全角50文字)

ショートメールで送信できる文字数は半角全角にかかわらず50文字です。半角文字では大文字の英字、カタカナ、数字、一部の記号が使えます。小さいカタカナ「アイエオヤヨツ」は使用できません。使用できない文字を入力すると使用できる文字に変換されます。

「識別コード」へ弊社より指定するコード3桁を登録して下さい。

半角大文字にて、下記の通りに入力します。

※全角や下記以外の内容を入力しますと、システムが正常に動作しません。

識別コード	弊社より指定するコード3桁を入力します
入力1 ON	IN1 ON
入力1 OFF	IN1 OFF
入力2 ON	IN2 ON
入力2 OFF	IN2 OFF
入力3 ON	IN3 ON
入力3 OFF	IN3 OFF
入力4 ON	IN4 ON
入力4 OFF	IN4 OFF
全解除	KAIJYO
停電	TEIDEN
復電	FUKUDEN
定期通報	TEIKI

入力信号 1～4 の ON / OFF

各入力信号が「警報発生」した時に、該当する入力信号「ON」のメッセージ内容が送信されます。

また、「全体の設定」タブの「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」にチェックを付けている場合には、「警報解除」した時に該当する入力信号「OFF」のメッセージ内容が送信されます。

全解除

「全体の設定」タブの「解除呼出の方法」で「全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います」にチェックを付けている場合に送信されるメッセージです。

停電・復電

「全体の設定」タブで「停電や復電時に通報する」にチェックを付けていた場合に送信されるメッセージです。

定期通報

「全体の設定」タブで「定期通報する」にチェックを付けていた場合に送信されるメッセージです。

文字数

メッセージを入力すると現在の文字数が表示されます。

「文字の種類」で「ショートメール」を選択してれば、全角 1 文字、半角 1 文字として数えた数が表示されます。

「トーンモデム」の場合は、全角 2 文字、半角 1 文字として数えた数が表示されます。

「識別コード」が設定されていればその分の文字数も数えられます。

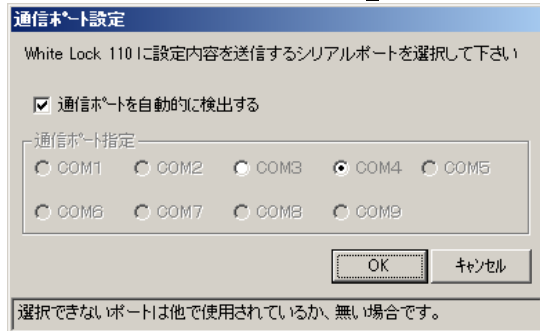
数字が赤く表示された場合は、文字数がオーバーしている状態です。

文字数
7
18
52
11

通信ポートの確認

設定内容を転送する時に使用する通信ポートを選択します。

メニューから「通信ポート設定 (Q)」をクリックして、下記ウィンドウを開きます。



通信ポートを自動的に検出する

「WL110A」に接続されている通信ポートを探して転送を行います。通常はここにチェックを付けておいてください。

通信ポート指定

「通信ポートを自動的に検出する」で転送が失敗する場合、チェックを外して「WL110A」が接続されている通信ポートを選択してください。

使用出来ない通信ポートがあれば薄色で表示されて選択できない状態になります。転送に使用する通信ポートをマウスで選択したら、[OK] ボタンをクリックします。

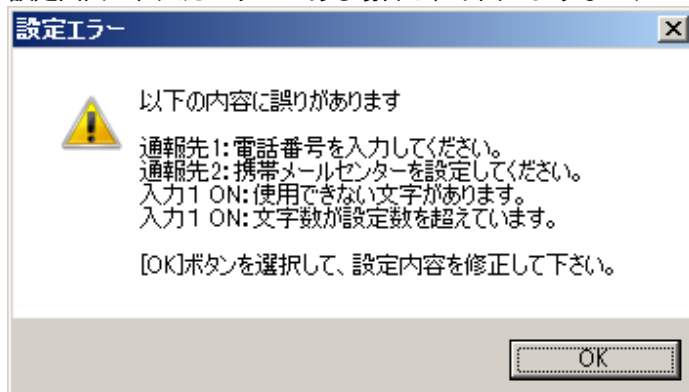
本体とパソコンの接続

付属の「通信ケーブル」で WL110A とパソコンを接続します。WL110A 側は「初期設定設定コネクタ」へ、パソコン側は「|0|0|」のマークがあるコネクタに接続します。

設定内容の転送

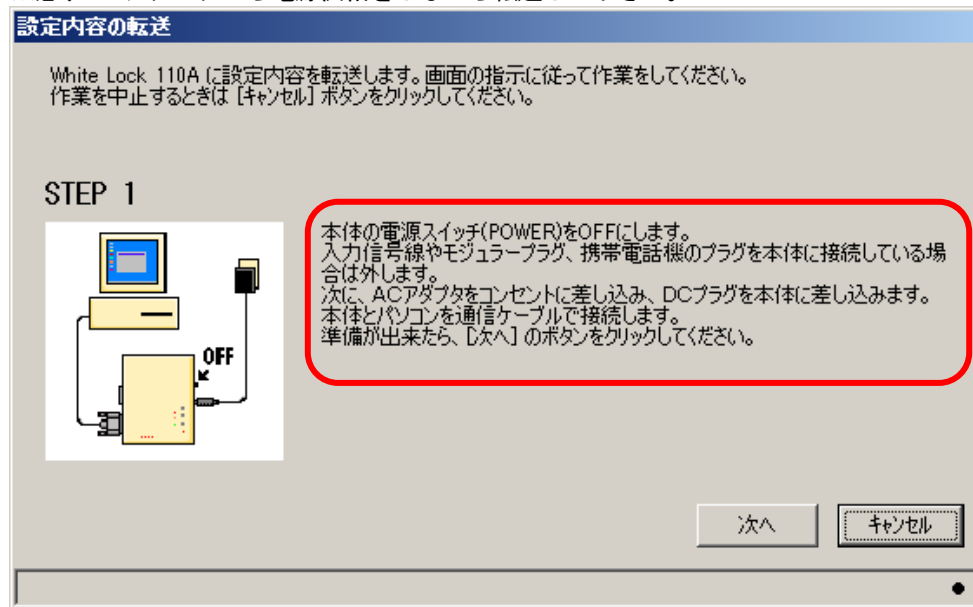
設定画面で入力が完了したら、メニューから「設定データ転送 (R)」を選択して下さい。

設定画面で、入力エラーがある場合は、下図のようなメッセージが表示されます。

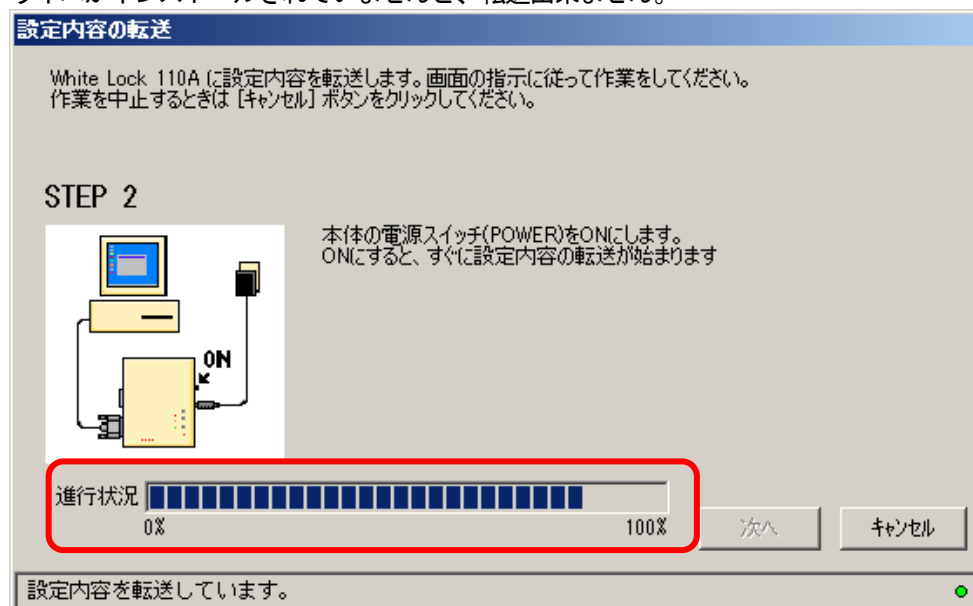


[OK] ボタンをクリックして、誤りが見つかった所を修正してから再度「設定データ転送 (R)」を選択して下さい。

設定内容の転送 STEP1 が表示されます。
画面に従って WL110A 本体とパソコンを接続します。
※必ず AC アダプタから電源供給をしながら転送して下さい。



「次へ」のボタンをクリックしますと、STEP2 の画面が表示されますので、指示に従って WL110A の電源を ON にします。
※COM ポートが間違っていると WL110A 本体の電源を ON にしても進行状況が全く進みません。「キャンセル」をクリックし、もう一度「設定内容の転送」からやり直して下さい。
※USB 変換ケーブルを使用されている場合は、変換ケーブルのドライバがインストールされているかご確認下さい。ドライバがインストールされていないと、転送出来ません。

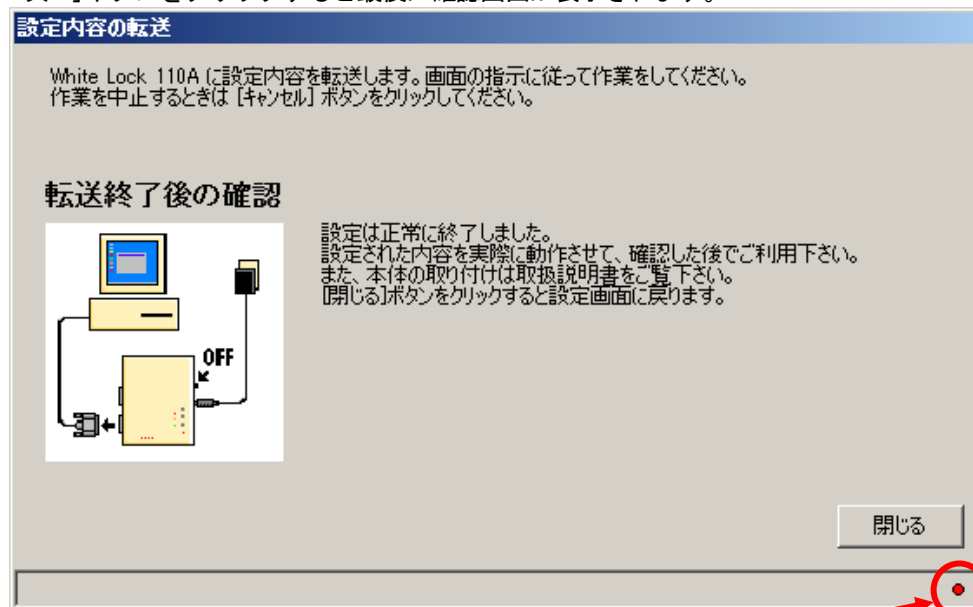


自動的にデータの転送が開始され、進行状況が表示されます。
※進行状況が 100% になるまでは、電源スイッチを切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないで下さい。

転送が終了しますと、STEP3 の画面が表示されます。

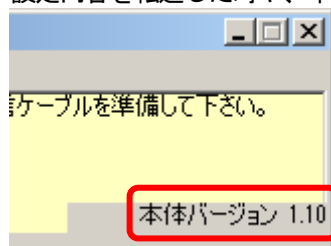


転送が終了し、通信ケーブルのコネクタを抜くと「次へ」のボタンが使えるようになります。「次へ」ボタンをクリックすると最後に確認画面が表示されます。



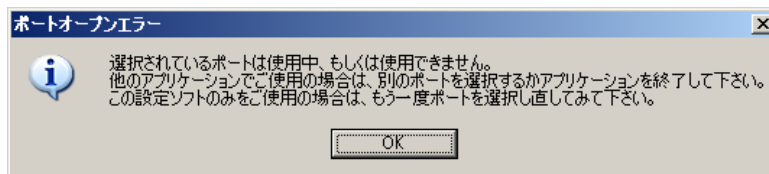
通信ケーブルを本体から外すと緑から赤へ変わります。
「閉じる」をクリックすると転送作業が終了し、元の画面に戻ります。

設定画面に戻りますと、画面右上に WL110A 本体バージョンが表示されます。
設定内容を転送した時や、本体から設定内容を読み込んだ時に表示されます。



ポートが使用中だった場合

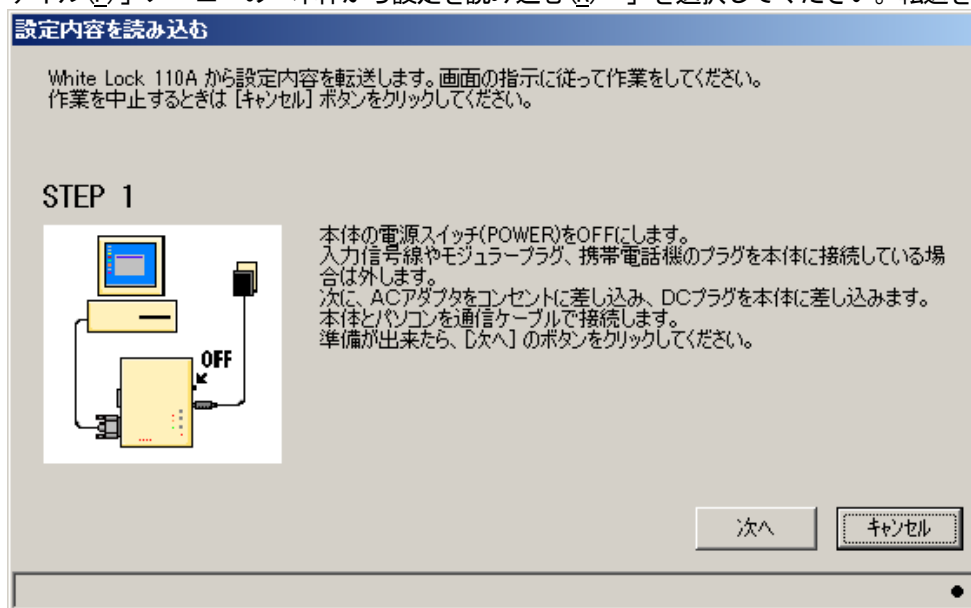
選択されたポートが他のアプリケーションで使用中だった場合、以下のダイアログが表示されます。



他のアプリケーションを終了などして、ポートを使用可能にしてから転送してください。

本体から設定内容を読み込む

本体に現在保存されている設定を読み込みます。本体が、どのような設定になっているか確認することができます。「ファイル(F)」メニューの「本体から設定を読み込む(R)…」を選択してください。転送を開始する画面が表示されます。



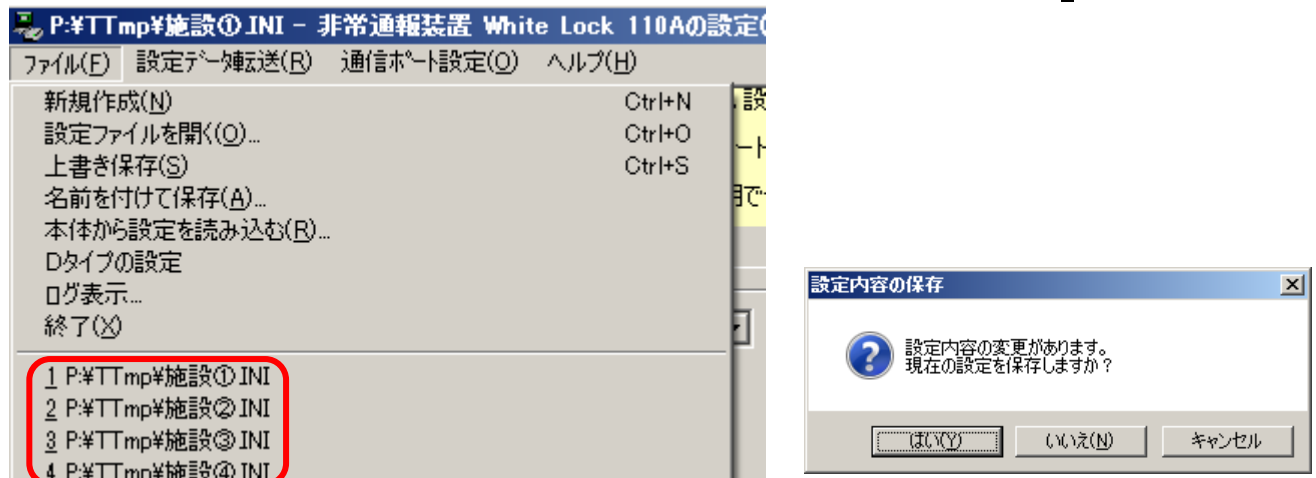
後は、画面の指示に従って操作をして下さい。

手順は「設定内容の転送」と同じです。転送終了後、本体から読み込んだ設定が画面に表示されます。

※「送信メッセージ編集」タブの「文字の種類」の設定は本体に保存されていないため、読み込むことはできません。読み込んだ後で適当な値に設定してください。

設定内容の保存と読み込み

設定内容をファイルに保存したり、ファイルから読み込んだりするにはメニューの「ファイル(F)」から行います。



以前に編集したファイル

過去に開いたファイルの履歴を 10 個まで表示します。表示されているファイルを選択すると、そのファイルを開きます。現在の設定が保存してなければ保存するか確認してきます。

新規作成

全ての設定項目を初期状態にします。通報先は全て「(設定しない)」で送信メッセージも全て未設定にします。現在の設定が保存してなければ保存するか確認してきます。

設定ファイルを開く

保存した設定ファイルを開く場合は、[ファイル(F)] メニューの [設定ファイルを開く (O)] を選択し、開きたい設定ファイルを選択して [開く (O)] ボタンをクリックします。現在の設定が保存してなければ保存するか確認してきます。

上書き保存

既に開かれているファイルに上書き保存する場合は、[ファイル(F)] メニューの [上書き保存 (S)] を選択します。

名前を付けて保存

設定された内容をファイルに保存する時は、[ファイル(F)] メニューの [名前をつけて保存 (A)] を選択します。保存する設定ファイルは、INI の拡張子を持つファイルとなります。

本体から設定を読み込む

30ページを参照してください。

D タイプの設定

D タイプの設定画面に切り替わります。現在の設定が保存してなければ保存するか確認してきます。

※D タイプ WhiteLock は使用電波が停波している為、ご使用頂けません。

終了

設定ソフトを終了します。

録音再生

録音再生の概要

音声録音は8つの録音チャンネルが用意されています。各チャンネルを録音し、通報時はこれらを組み合わせて再生されます。各チャンネルの録音時間は最大20秒となります。

出荷時の録音内容

出荷時は下記のように予めテスト録音がしてあります

録音チャンネル0	「通報装置です」
録音チャンネル1	「入力1」
録音チャンネル2	「入力2」
録音チャンネル3	「入力3」
録音チャンネル4	「入力4」
録音チャンネル5	「全解除」
録音チャンネル6	「停電」
録音チャンネル7	「復電」

録音内容の例

録音チャンネル0	設置した場所や機械装置などの名前が解るような内容を録音します。 例：「こちらは××です」、「◎◎からのお知らせです」
録音チャンネル1～4	各入力信号1～4に対応した通報内容を録音します。 例：「〇〇の警報が発生しました」、「〇〇の故障が発生しました」
録音チャンネル5	全入力が解除したときに通報する内容を録音します。 例：「全ての警報は解除しました」、「全ての故障は解除しました」
録音チャンネル6	停電が発生した際に通報する内容を録音します。 例：「停電が発生しました」、「外部電源装置が故障しました」
録音チャンネル7	復電したときに通報する内容を録音します。 例：「復電しました」、「外部電源装置が復帰しました」

注意事項

録音するときに大きな声で録音したときは再生音がひずむ場合がありますが、通報された電話機で聞くときはひずむことはありません。音量の調整は出来ませんので実際に通報を受けてご確認ください。

通報時の再生例（通常通報を受けた時）

入力信号が「有り」になったとき

「こちらは××です。〇〇の警報が発生しました」
「◎◎からのお知らせです。〇〇の故障が発生しました」

全入力が「無し」になったとき

「こちらは××です。全ての警報は解除しました」
「◎◎からのお知らせです。全ての故障は解除しました」

停電が発生したとき

「こちらは××です。停電が発生しました」
「◎◎からのお知らせです。外部電源装置が故障しました」

復電したとき

「こちらは××です。復電しました」
「◎◎からのお知らせです。外部電源装置が復帰しました」

録音再生の操作方法

録音は、付属のイヤホンマイクを本体側面のイヤホンジャックに挿して行います。

※録音再生をするときは、必ず AC アダプタを接続して下さい。イヤホンマイクと AC アダプタ以外は繋げないで下さい。

※録音は、通報先を設定する前に行って下さい。通報先が設定してあると、電源を ON した際すぐに通報の動作する場合がある為、必ず全ての通報先を「（設定しない）」設定にしてから録音を行って下さい。録音が全て終わった後、改めて通報先の設定を行って下さい。

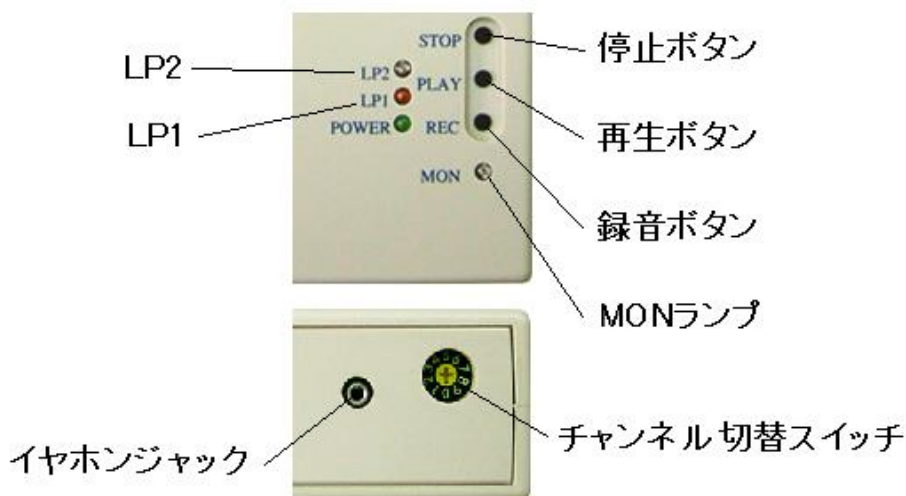
※大きな声で録音すると、再生音がひずむ場合がありますが、通報された電話機で聞くときはひずむことはありません。音量の調整は出来ませんので実際に通報を受けてご確認ください。

※音量調整ボリュームはありませんので、録音する音量で調整してください。各チャンネルの説明を読んで適当な内容を録音再生して確認してください。

1. 録音するチャンネルを「チャンネル切替スイッチ」で選択します。
スイッチを録音したいチャンネルにあわせませす。小さいマイナス、プラスドライバーで回して下さい。矢印の指している番号が現在のチャンネルになります。
2. 録音 (REC) ボタンと停止 (STOP) ボタンを同時に押します。
録音状態になると、MON ランプと LP2 が点灯します。
3. イヤホンマイクに録音する内容をお話してください。
MON ランプと LP2 が点灯してから 20 秒が経過すると自動的にランプが消えて録音が終了します。
※任意の位置までで、録音を停止させたいときは停止 (STOP) ボタンを押します。
4. 再生 (PLAY) ボタンを押すと、イヤホンから録音内容が再生されます。
途中で録音を停止させた場合はその位置まで再生されます。
再生中は MON ランプと LP1 が点灯します。
5. 録音が終わったら電源を OFF にして、イヤホンマイクを抜いてください。

※ 録音再生が終了したら、必ず「チャンネル切り替えスイッチ」を「0」にして下さい。

慣れてくれば無音の状態が少なくなるように録音できるようになります。



動作確認

本体の設定が終了したら、設定したように動作するか必ず確認して下さい。

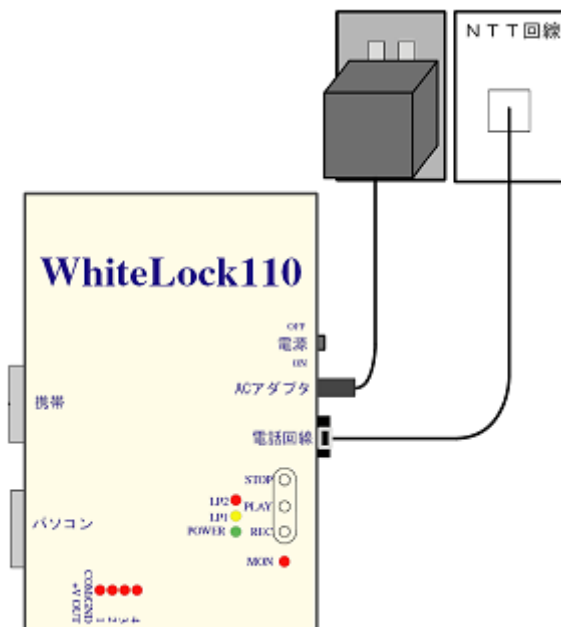
1. 「電源スイッチ」を OFF にします。
2. AC アダプタの電源プラグを WL110A の「AC アダプタ」に接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。接続方法は43ページの説明をご覧ください。
3. 付属のモジュラーケーブルで電話回線と本体の「電話回線」を接続します。接続はカチッと音がして完全に差し込まれていることを確認してください。
4. 「チャンネル切替スイッチ」が「0」になっていることを確認します。
5. 「電源スイッチ」を ON にします。
6. 各入力信号の端子と、共通端子をリード線等で結線させ通報させます。（42ページ参照）

○音声通報・・・通報先に電話がかかって音声メッセージが流れるか確認します。

○携帯メール・・・通報先の携帯電話にメールが届いたか文字メッセージ内容を確認します。

○タダ電通報・・・通報先で呼出音が鳴って切れるか確認します。

※下図のように、電話回線と AC アダプタを接続して動作確認を行ってください。



呼出の種類と通話時間

通報の種類

通報には「音声通報」「携帯メール（SMS）通報」「タダ電通報」「トーンモデム」「メール送信システム」の5種類があります。

※文字メッセージ通報は、「携帯メール（SMS）通報」「トーンモデム」「メール送信システム」のどれかひとつになります。

音声通報

音声通報は、一般電話、携帯電話、PHS 等へお客様がご自分で録音した音声で通報します。

携帯メール

携帯メールは、設定ソフトで設定した文字メッセージをショートメッセージサービスを使用してドコモの携帯電話へ SMS メール通報します。

※通報先はドコモの携帯電話機に限ります。ドコモ以外の携帯電話への送信は出来ません。

タダ電通報

タダ電通報は、一般電話、携帯電話、PHS の呼出音を鳴らして電話を切ります。呼出音を鳴らすだけなので通話料金はかかりません。通報先が電話にでても「WL110A」はすぐ電話を切りますが、この場合通話料金がかかってしまいます。留守番電話サービスやドライブモードなどで、呼出音を鳴らさずに電話を取る場合も料金が掛ってしまいますので、ご注意下さい。

トーンモデムへ通報

トーンモデムへ通報は、弊社製品のトーンモデムへ文字メッセージで通報を行います。トーンモデムをパソコンに接続し通報を集中監視することができます。

メール送信システムによる E メール通報

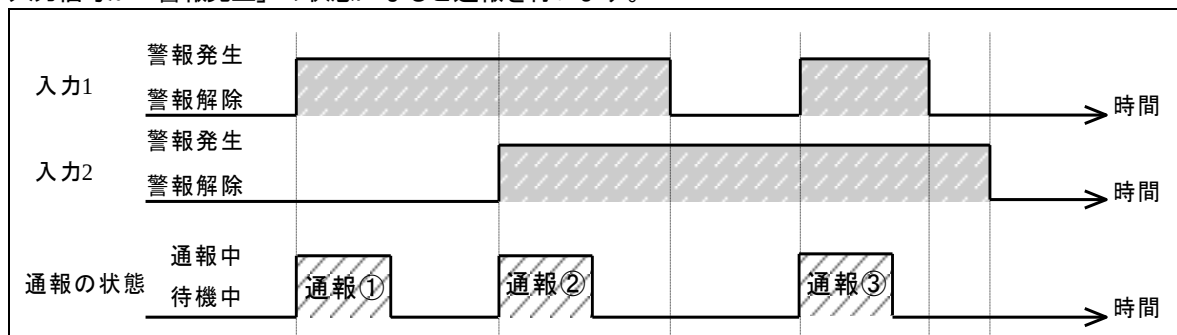
メール送信システムを利用した、E メール通報です。システムを利用するには、ユーザー登録が必要です。

1 回の通報にかかる通話時間

- 「音声通報」の場合は、受信側が受話器を上げている時間によって異なります。但し、通報 1 回当たり最大 120 秒を過ぎると自動的に電話を切ります。
※ この場合、通報が正常に終わっていないものと判断し、リダイヤルします。
- 「タダ電通報」の場合は、呼出音を鳴らすだけなので通話料はかかりません。
- 「携帯メール通報」の場合は、送信するメッセージ文字数により通話時間が変わります。10 文字の全角文字メッセージを送信する場合、通報開始より 40 秒程度です。
- 「トーンモデム」の場合は、文字数により通話時間が変わります。半角 1 文字送信するのに 1 秒かかります。10 文字の全角文字メッセージを送信する場合は、電話をかけたり、切ったりする時間を含めて 40 秒程度です。
- 「メール送信システムへ通報」の場合は、弊社サーバーまでの通話時間になります。1 つの通報についての通話時間は、28 秒以下です。

標準設定の時

入力信号が「警報発生」の状態になると通報を行います。

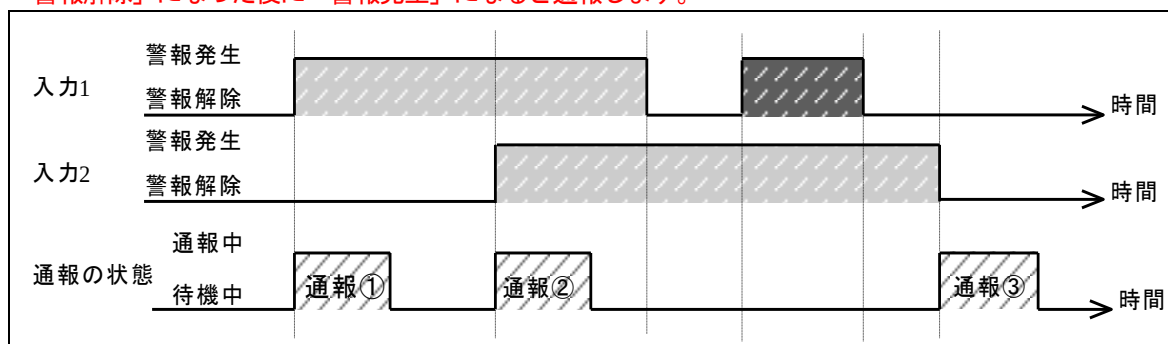


1. 入力信号 1 「警報発生」… 通報する (通報①)
2. 入力信号 2 「警報発生」… 通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報解除」… 通報しない (個別解除呼出の設定がしていないとき)
4. 入力信号 1 「警報発生」… 通報する (通報③)
5. 入力信号 1 「警報解除」… 通報しない (個別解除呼出の設定がしていないとき)
6. 入力信号 2 「警報解除」… 通報しない (全解除呼出の設定がしていないとき)

全解除呼出設定

「解除呼出の方法」で「全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います」にチェックを入れた場合、全ての入力信号が「警報解除」の状態になると「全解除通報」を行います。

※通報開始より「全解除通報」までの間、既に通報済みの入力信号の「警報発生」は通報しません。全ての入力信号が「警報解除」になった後に「警報発生」になると通報します。



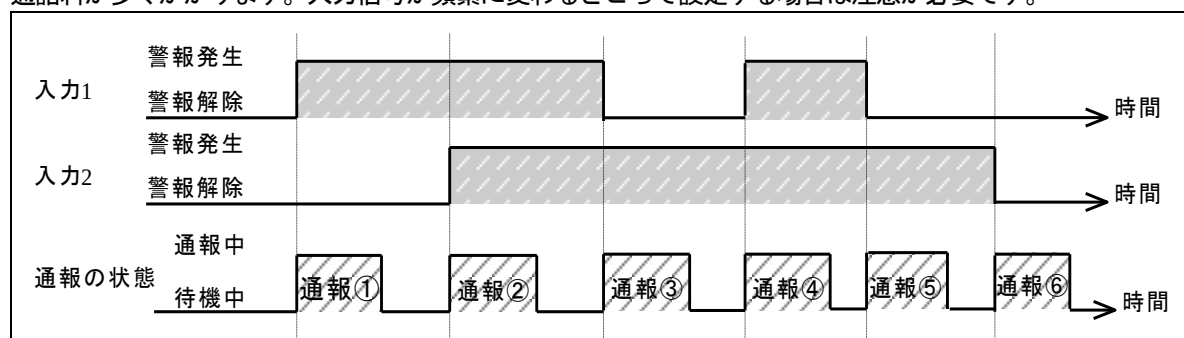
1. 入力信号 1 「警報発生」… 通報する (通報①)
2. 入力信号 2 「警報発生」… 通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報解除」… 通報しない
4. 入力信号 1 「警報発生」… 通報しない (通報を行ってから「全解除通報」していないため)
5. 入力信号 1 「警報解除」… 通報しない
6. 入力信号 2 「警報解除」… 全解除通報する (通報③)

個別解除呼出

「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」にチェックを入れた場合、各入力信号が「警報解除」の状態になると「個別解除呼出」を行います。

※文字メッセージ通報（携帯メール・トーンモデム・非常通報メール）のみ「個別解除呼出」します。

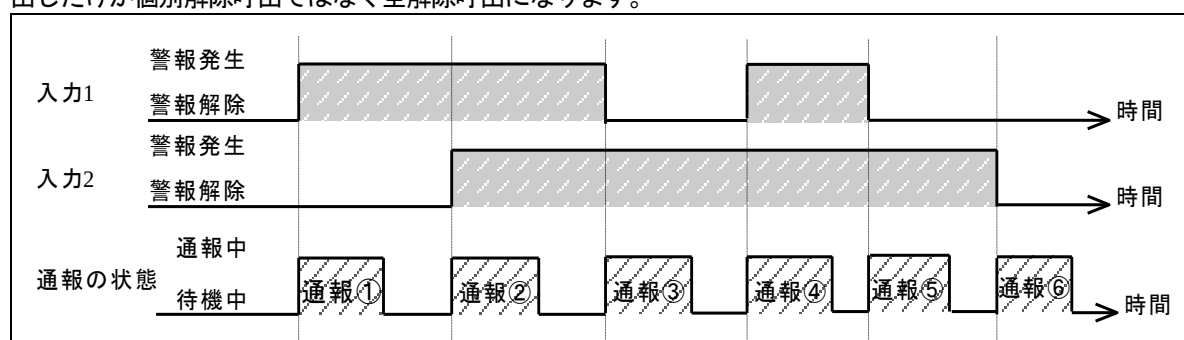
注）この設定をすることで、センサーなどの信号出力が誤報検知を出したとき、すぐに復旧すれば解除呼出によって誤報の確認が出来ることもあります。個別解除呼出に設定すると、入力変化の度に通報しますから通報頻度が高い場合は通話料が多くかかります。入力信号が頻繁に変わるところで設定する場合は注意が必要です。



1. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する（通報①）
2. 入力信号 2 「警報発生」 … 通報する（通報②）
3. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する（通報③）
4. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する（通報④）
5. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する（通報⑤）
6. 入力信号 2 「警報解除」 … 個別解除通報する（通報⑥）

個別解除呼出と全解除呼出を両方設定している場合

「解除呼出の方法」で「各入力信号が解除になる度に解除呼出を行います」と「全ての入力信号が解除になると解除呼出を行います」の両方にチェックを入れた場合は、個々の解除呼び出しを行い、全ての入力が解除になる最後の解除呼び出しだけが個別解除呼出ではなく全解除呼出になります。



1. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する（通報①）
2. 入力信号 2 「警報発生」 … 通報する（通報②）
3. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する（通報③）
4. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する（通報④）
5. 入力信号 1 「警報解除」 … 個別解除通報する（通報⑤）
6. 入力信号 2 「警報解除」 … **全解除通報**する（通報⑥）

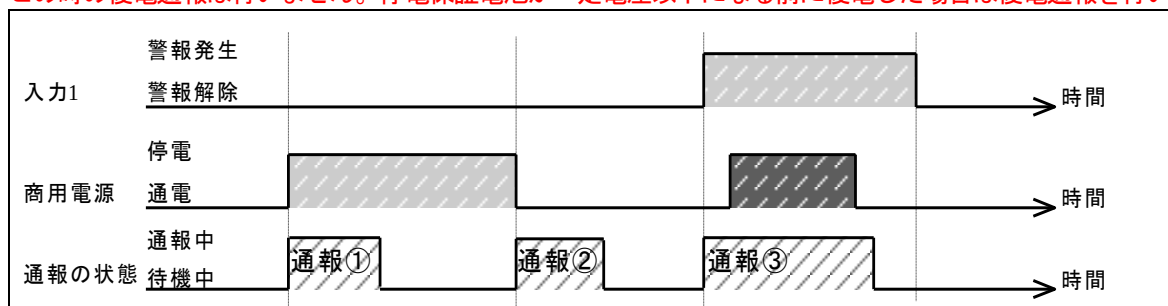
停電時発信

「停電や復電時に通報する」にチェックを入れた場合、商用電源からの電源供給が無くなった時に「停電通報」を、商用電源が復電した時に「復電通報」を行います。

※「携帯メール通報」「トーンモデム」「メール送信システム」の場合、停電時のメッセージ、復電時のメッセージとなります。

※停電通報は「全解除呼出」や「個別解除呼出」とは関係なく、別の呼出として通報します。

注) 停電通報後、停電保証電池の残量が一定電圧以下になると、本体は停止します。復電時に本体は再起動しますが、この時の復電通報は行いません。停電保証電池が一定電圧以下になる前に復電した場合は復電通報を行います。



1. 商用電源 「停電発生」 … 停電通報する (通報①)
2. 商用電源 「停電解除」 … 復電通報する (通報②)
3. 入力信号 1 「警報発生」 … 通報する (通報③)
4. 商用電源 「停電発生」 … 停電通報しない (入力信号 1 の通報中のため)
5. 商用電源 「停電解除」 … 復電通報しない (停電通報を行っていないため)

定期通報

設定で「定期通報する」にすると、指定した時間毎に通報を行います。

1時間毎から255時間(約10日)毎に設定できます。例えば、48時間毎に定期通報させれば、2日毎に通報が来ますので通報装置が正常に動作しているか確認できます。

※定期通報は通報先の種類が「携帯メール通報」「トーンモデム」「メール送信システム」の場合のみ通報します。

※定期通報の通報内容では、入力信号の状態は確認出来ません。

※正常に通報が終了しなかった場合はリダイヤルします。(リダイヤル回数の制限無しの場合)

※WL110Aはタイマーが内蔵されていない為、1日で約10分程度のずれが生じます。

通報終了の条件

1つの通報先を終了する条件

それぞれの通報先で通報が終了したと判定される条件。

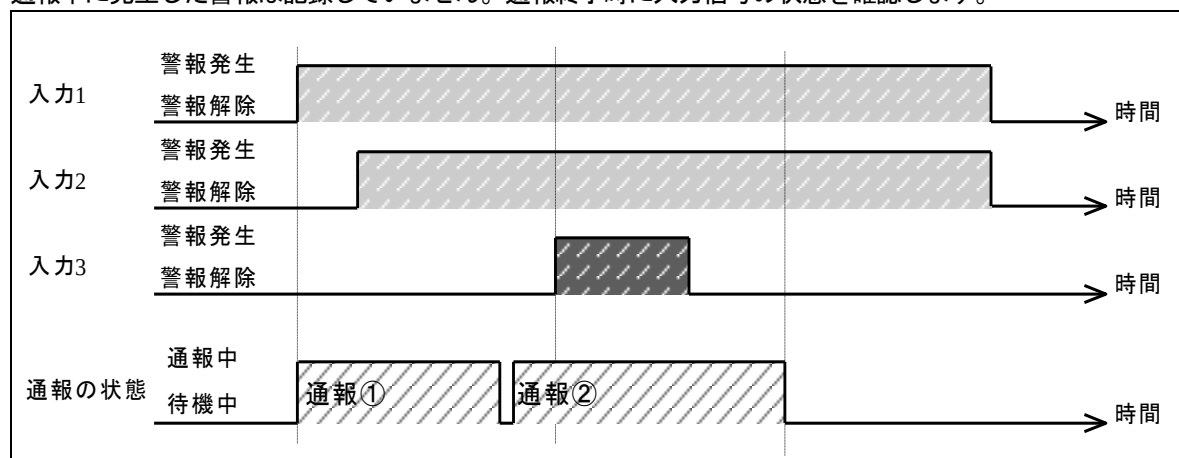
- 音声通報の場合、通報先が電話に出てから 120 秒以内に電話を切ると、その通報先への通報は終了となります。
(WL110A は通報先が 30 秒以内に電話に出ないとき、一旦電話を切ってかけ直す動作をします)
- タダ電通報の場合、WL110A が呼出音を確認できたら、その通報先への通報は終了となります。通報先の呼出音が鳴る回数は不定です。
- 携帯メールの場合、ショートメッセージセンターが電話に出て、文字メッセージを預かった後、電話が切れると終了となります。
- メール送信システムの場合、サーバーがメッセージ内容を受け取ると終了となります。
- 通報先が話中や、通報先の携帯電話が圏外か電源 OFF の場合、再度電話をかけます。
- 音声通報の場合、通報を受けた電話機で#を押すと通報終了となります。
※PBX（内線交換機）で電話を切ったあとの話中音の周波数が違う為、通報を終了出来ない場合に、#を押すことで通報終了とさせることができます。

複数の通報先を終了する条件

- 通報する順番は通報先1～6の順番に行います。
- 全ての通報が終了するまで通報先1～6を繰り返し行います。
- 通報が終了した通報先には通報しません。順番を飛ばします。
- 通報先が話中、圏外などで通報が成功しなかった場合は、次の通報先を試みます。
- 複数の通報先を設定した場合、「必ず通報」か「何所か1カ所」の設定により終了条件が変わります。
 - 「必ず通報」の設定をした通報先は、他の通報先とは関係なく成功するまで行います。
※ただし、「リダイヤル回数」が「制限無し」に設定してある場合に限りです。回数が設定してある場合は、設定回数リダイヤルした後に終了します。
- 「何所か1カ所」を通報先1カ所へ設定した場合は、必ず通報します。
- 6カ所すべて「必ず通報」の設定をした場合、6カ所すべてに通報が終了するまで繰り返します。
- 6カ所すべて「何所か1カ所」の設定をした場合、6カ所中の何所か1カ所に通報成功すると、他の5カ所には通報しません。

通報を終了するまでに発生した警報

通報中に新たに発生した警報は、現在の通報が設定通りに終了しない限り通報を開始しません。
通報中に発生した警報は記録していません。通報終了時に入力信号の状態を確認します。



1. 入力信号 1 「警報発生」… 通報する（通報①）
2. 入力信号 2 「警報発生」… 通報①が終了後に通報する（通報②）
3. 入力信号 3 「警報発生」… 通報しない（通報②が通報中に発生し解除したため）

リダイヤルについて

通報が正常に終了しない場合、LP1 が 10 秒間低速点滅して再度電話をかけます。

設定でリダイヤル回数を 0～9 回、または制限無しに設定できます。

※通報先を「必ず通報」に設定していても、「リダイヤル回数」が「0～9 回」に設定した場合は、通報が成功していなくても設定した回数以上は通報を試みませんのでご注意ください。

設置方法

設置場所を決める

110A を設置する前に、本書の仕様を確認の上、設置場所を決めて下さい。壁や天井などに取り付ける場合は、付属のプラスチック取付足をご使用下さい。また、本体と接続されるコード等が余裕をもって設置出来るような空間を確保して下さい。

接続工事

本体側の電話回線

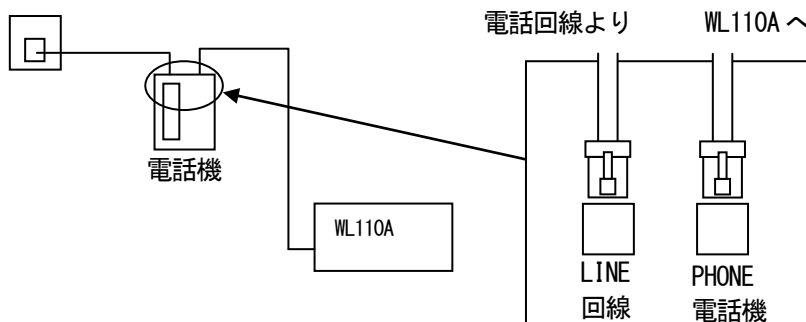
NTT 仕様の 2 線式のプッシュ回線及びダイヤル回線。ISDN 回線をご利用の場合は、ターミナルアダプタ (TA) のアナログポートに接続します。

※モジュラーコードを 10m 以上でご使用するのはお止め下さい。モジュラーコードの場合、抵抗値が低くなる為に正常動作しない恐れがあります。10m 以上の場合は、必ず配線用コード 0.4mm をご使用下さい。

他の電話機や FAX などの回線と併用するとき

本製品を既設の電話機やモデムの回線と併用するときは、終端に接続されるか、モジュラージャックを分配する自動転換器をご使用下さい。

電話回線の終端に接続する場合



電話機、モデム等のモジュラーケーブル差込口

(差込口に明記されている LINE や、PHONE 等の文字は、必ずしも上記と同じものとは限りません。ご使用の機器の接続方式に従ってモジュラーケーブルを接続して下さい。)

モジュラージャックを分配する場合

自動転換器 (先取り機能付き*) を使用することにより、電話回線を他の機器と分配して使用することが出来ます。

*先取り機能とは、電話回線を先に使用している機器以外の機器の、電話回線使用を出来なくする機能です。

※単純な分配器を使用しますと、通報中に電話機の受話器を上げた時に通報内容やプッシュトーンが聞こえ、混信によって通報が正しく行われなくなる可能性があります。

※自動転換器を使用して、1 本の電話回線で複数の WL110A をご使用する事も出来ます。

※自動転換器はナカ電子の NT-325N を推奨します。
(オプション品で販売しております)



入力端子接続

接続に関するご注意

COM（共通端子）は端子の端から2番目になっていますので、お間違えのないように接続して下さい。
※接続できる信号は無電圧のものに限ります。商用（AC）100Vや直流電圧がかからないようにしてください。

接続

各信号はCOM（共通端子）と1～4の間に接続します。信号は無電圧 a 接点（無電圧 b 接点）又は、オープンコレクタを接続します。

※電圧を加えると故障しますので、ご注意ください。

※設定ソフトで各入力の a 接点、b 接点を変更することもできます。

※1つの入力に複数の入力を並列に接続して一括故障などすることもできます。

※入力は、700 ミリ秒以上（初期値）の間継続して ON(OFF)の時に、入力変化があったとみなし通報します。

端子台

端子台はケーブルを端子台ソケットに差してマイナスドライバーでネジ止めします。そして、本体にソケットを差し込んでください。

【ネジ締め式端子台】

信号入出力コネクタの接続電線範囲 AWG28～AWG16

電線むき長さ 7mm

締めつけトルク 0.22～0.25N・m

単線 又は より線

注意：電線の先端は予備ハンダをしないでください。

【ワンタッチ端子台】

信号入出力コネクタの接続電線範囲 AWG24～AWG16

電線むき長さ 9～10mm

単線 又は より線（棒端子併用を推奨）

* 電線を端子に接続後は引っ張るなどし、抜けないことを確認下さい。まれに端子内部の金具に挟まっていない場合があります。

プラスチック取付足

本体を固定する場合は、ケース裏面のビス4個を外し、付属のビスで「プラスチック取付足」を挟んでケース止めして下さい。

※付属のビス以外のもの使うとケースの表面にネジ頭が飛び出ることがあります。

※固定用ビスは、M3 サイズです。

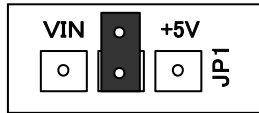
※取付足穴位置は、外形図61ページを参照下さい。



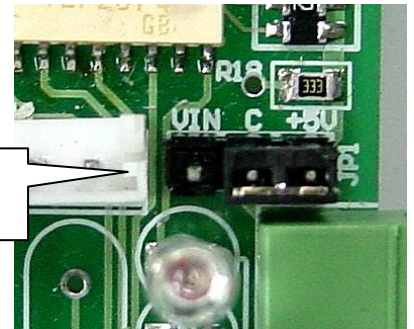
センサー用電源+V 端子

外部センサーなどの電源に利用するためのセンサー用電源（入力端子の+V）が出力されます。出荷時には電圧が出ておりません。ケースの蓋を開けると、「JP1」のジャンパーがあります。（入力端子横）このジャンパーに短絡ソケットを差すことで「出力無し」、「DC5V」、「AC アダプタの出力をそのまま」の切り替えができます。

- ・ ショートしない(出荷状態)
出力無しの状態。



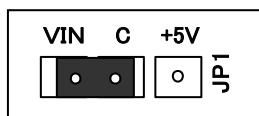
+5V のジャンパーを短絡ソケットでショートした状態です。



- ・ VIN をショート

AC アダプタの出力をそのままの+V 端子へ出力します。

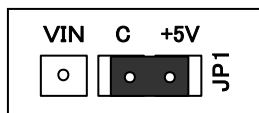
停電時は AC アダプタからの出力がなくなりますから+V 端子への出力もなくなります。



- ・ +5V をショート

5V を出力します。

停電時は停電保証電池から+V 端子に繋がれている機器に電源を供給しますので、停電保証時間が短くなります。



蓋を閉める際にご注意下さい

WL110A の蓋を開けて閉める時には LED やボタンがケースに当たらないようにご注意ください。無理に閉めようすると破損する場合があります。

AC アダプタの接続

アダプタから伸びているコードのプラグを「AC アダプタ」にさし込み、アダプタ本体をコンセントに差し込みます。

※「POWER」ランプは「電源」スイッチ ON の時、AC アダプタから電源供給が無い場合でも、内蔵電池からの電気が供給されいと、点灯します。

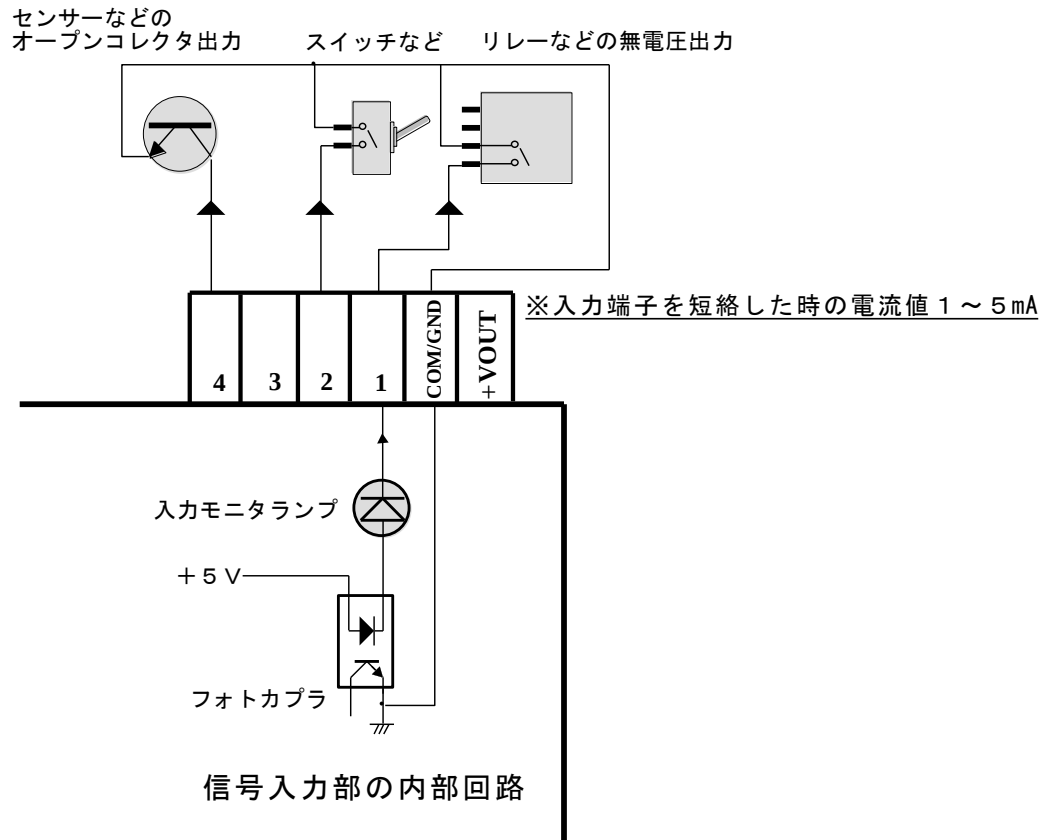
※制御盤内部の AC コンセントを利用する場合、AC コンセントに電気がきていない事があります。制御盤内部のブレーカーやスイッチでコンセント電源を入り切り出来る場合はご注意ください。停電保証用電池を取り外した状態で、電源スイッチを ON にしたとき「POWER」ランプが点灯すればコンセントに電気がきています。

運転の開始

実際に現場に取り付けて使用するときは、次のことに注意してください

- ・ 「STOP」「PLAY」「REC」 ボタンを押さないで下さい。通常の監視状態でも録音再生が可能になっています。また、音声再生中や録音中は通報できません。
- ・ 運用中はイヤホンを挿したり抜いたりしないでください。
- ・ 音声チャンネルは 0 にしてください。

信号入力部の内部回路



通報の受信

受信装置

音声通報、タダ電通報を受信できるのは、一般電話機、携帯電話、PHS です。

携帯メールを受信できるのは、ドコモの携帯電話機だけです。また、ドコモの携帯電話機でも、SMS受信拒否設定をしていると、受け取ることが出来ませんのでご注意下さい。

トーンモデムの場合、電話回線よりトーンモデムを介してパソコンで通報を受けます。

メール送信システムを利用したEメール通報を受信出来るのは、Eメールを受け取れるパソコン、又は携帯電話機です。

音声通報を電話機で受信したとき

電話のベルが鳴ったら受話器をとります。最初に録音チャンネル0の音声が入聞こえ、続いて該当する入力信号に対応する録音内容が聞こえます。受話器を上げている間繰り返します。

WL110Aは通報先が受話器をとってから120秒を過ぎると、通報装置が電話を切ります。この場合はしばらく待つと再び電話がかかってきます。120秒以内に受話器を下ろせば（受信した側で電話を切る）、通報装置は正しく相手に通報できたと認識して以後通報はしません。

携帯メールを受信する場合

ドコモ携帯電話機のみが受信出来ます。また、SMS 受信許可されているものに限りです。

※SMS 受信拒否設定の場合、多額の電話代が請求される場合がありますのでご注意下さい。また、拒否設定により発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので予めご了承下さい。

トーンモデムの場合

集中監視システムが入ったパソコンへ、電話回線よりトーンモデムを介して文字で表示されます。

メール送信システムを利用した場合

弊社サーバーが通報を受け取ると、登録された通報先（メールアドレス）へ通報のメッセージが一斉送信されます。通報先には、弊社サーバーからのEメールが届きます。

メッセージは、ユーザー登録時に登録した内容となります。登録内容の変更も可能です。

動作モニタ

表示モニタランプ

起動時

電源 ON で POWER ランプが点灯します。その他のランプは動作によって変わります。

回線の種類が「自動判定」の場合

電源 ON で LP1（黄）、LP2（赤）が点灯します。

2 つとも点灯した 3 秒後にどちらかが先に消えた後もう一方が 0.5 秒後に消えます。

プッシュ回線なら LP2（赤）が先に消え、ダイヤル回線なら LP1（黄）が先に消えます。

回線の種類が「プッシュ回線」の場合

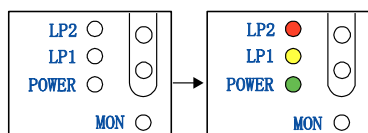
電源 ON で LP1（黄）、LP2（赤）が点灯します。

0.5 秒後に LP2（赤）が先に消え、その後 LP1（黄）が消えます。

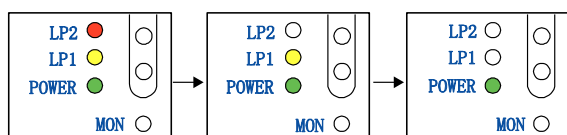
回線の種類が「ダイヤル回線」の場合

電源 ON で LP1（黄）、LP2（赤）が点灯します。

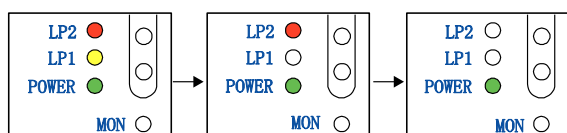
0.5 秒後に LP1（黄）が先に消え、その後 LP2（赤）が消えます。



電源 ON



プッシュ回線の場合



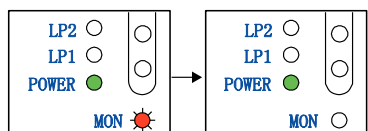
ダイヤル回線の場合

電池で動作している場合（AC アダプタから電源が来ていない状態）

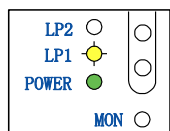
MON（赤）ランプが 10 回高速点滅します。

「電源 ON 時に 60 秒間入力信号を無視する」にチェックが入っている場合

電源を入れると、LP1（黄）が 60 秒間低速点滅します。



MONランプ10回高速点滅

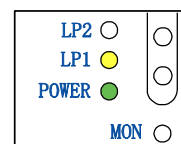


電源ON時に60秒間LP1ランプ低速点滅

通報の状態から見たとき

1. 電話を接続中

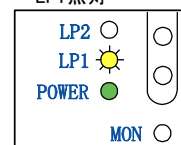
「LP1（黄）」点灯。（受話器を上げたときから受話器を下ろすまでの間）



1. 電話を接続中
LP1点灯

2. 話中であったとき

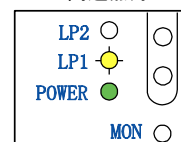
「LP1（黄）」高速点滅(3秒間)。このあと3項に進む。



2. 話中
LP1高速点灯

3. リダイヤル待機中

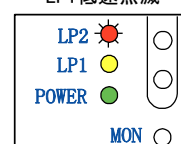
「LP1（黄）」低速点滅(リダイヤルを開始するまで)。待機時間終了で1項へ進む。



3. リダイヤル待機中
LP1低速点滅

4. 相手が電話に出なかったとき

「LP2（赤）」高速点滅(3秒間)。このあとで「LP1（黄）」が消灯。



4. 通報先が電話に出なかった
LP1点灯・LP2高速点滅

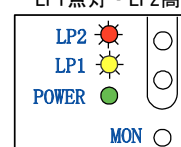
5. 使われていない番号にかけたとき

または、回線が繋がらず正しくダイヤル出来なかったとき

発信開始で「LP1（黄）」が点灯。

しばらく待つと、「LP1（黄）」と「LP2（赤）」が両方とも高速点滅(3秒間)。

この後「LP1（黄）」「LP2（赤）」は消灯し、3項へ進む。（相手先番号の確認が必要）



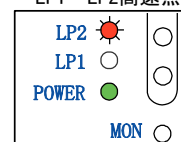
5. 使用されていない番号に
かけた場合
LP1・LP2高速点滅

6. 通報終了

発信先（相手）が受話器を取ってから通話後に受話器を下ろして通報が終わったとき

「LP1（黄）」は消灯し、「LP2（赤）」が一定時間高速点滅。

その後「LP2（赤）」は消灯。

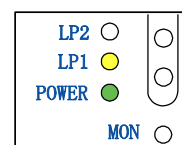


6. 通報終了
LP2高速点滅

7. モジュラープラグが電話回線に接続されていないとき

発信時に「LP1（黄）」が点灯しダイヤルを開始します。

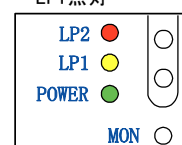
「LP1（黄）」のランプは点灯したままの状態となります。



7. 電話を接続中
LP1点灯

8. 設定モードのとき

「LP1（黄）」「LP2（赤）」とも点灯します。



8. 設定モード中
LP1・LP2点灯

ランプの点灯状態から見たとき

LP1（黄）	LP2（赤）	通報の状態
消灯	消灯	電話が切れている。通報は全て完了している。入力信号待ちの状態。
点灯	消灯	電話をかけているとき
低速点滅	消灯	リダイヤル待機中
高速点滅	消灯	通報先が話中だった為、電話を切った後の3秒間
点灯	点灯	設定モードのとき
消灯	高速点滅	通報が正常に終わった後の6秒間
点灯	高速点滅	電話を掛け始めてから30秒以内に通報先が電話に出ず、通報装置が電話を切った後の3秒間
高速点滅	高速点滅	使われていない番号にかけたとき メール送信中に途中で回線が切れてしまったとき

停電保証について

充電式電池が新品の場合で、完全充電されている状態では2時間以上動作します。入力端子が全てOFFで音声通報を10回程度行った場合です。入力がONでLEDが点灯している場合や、センサー用電源を使用している場合は、その分電力を消費しますので、保証時間は短くなります。

内蔵電池

製品に内蔵の電池は、ニッケル水素充電電池です。

内蔵電池の充電はACアダプタが正しく接続され、商用電源が供給されているときは「電源スイッチ」がOFFの状態でも充電しています。

※充電はトリクル充電方式により、過充電にならない程度に弱い充電を常時行っております。電気代はわずかですが、長期間にわたって通報装置として使用されないときはACアダプタをコンセントから抜いておかれることをお勧めします。

※停電通報しない場合や、停電時の通報が不要な場合は、本体から電池を取り外してください。

電池は2年以上使用可能です。手動で、停電状態（ACアダプタのプラグを抜いた状態）にして、停電保証が必要な時間内に電源ランプが暗くなるようでしたら交換が必要です。

ACアダプタから電源を供給せずに「電源スイッチ」をONにしてお使いになるような場合や、停電が長引いて電池の電圧が完全になくなったときは、完全充電までに72時間以上かかることがあります。

電池の交換をするときは、ケース裏面の電池蓋をスライドさせて蓋をはずしてください。

交換する電池は、必ず**ニッケル水素充電電池 006P 型 9V** をご使用下さい。

※アルカリ乾電池をつなげますと火災の原因となります。爆発するおそれもありますのでご使用は絶対にお止め下さい。



Q & A 困ったときにご覧下さい

一般的なご質問.....	50
通報・設定についてのご質問.....	53
携帯メールについてのご質問.....	56
メール送信システムについてのご質問.....	57
設定ソフトについてのご質問.....	58

一般的なご質問

Q. 接続出来る一般回線とは

- A. 使用出来るのは、NTT 仕様で 2 線式のプッシュ回線またはダイヤル回線です。
NTT 準拠のアナログポートにつなげて下さい。
例えば ISDN 回線・ADSL 回線・ひかり電話・IP 電話・PBX
*それぞれ専用の信号変換機器やモデム又は TA (ターミナルアダプタ) 等のアナログポート
に接続します。
《 使用出来ない回線 》
携帯電話機・PHS・ビジネスホン・ホームテレホン・4 線式電話機・専用線

Q. 装置は ISDN 回線を使用できますか？

- A. ISDN 回線に直接接続することは出来ません。ターミナルアダプターのアナログポートをお使い下さい。

Q. 内線発信に対応していますか？

- A. 対応しています。「PBX での使用について」11ページをご覧ください。

Q. 電話が繋がらない

- A. ビジネスホン回線、ホームテレホン回線、4 線式電話機には接続することは出来ません。
PBX 交換機を介した接続についての注意は、11ページをご覧ください。また、普通の電話機(一般家庭で使われている電話機です)を接続して使用できるか調べてください。交換機によっては、電話をかける場合特殊な番号、たとえば「#9」などを最初にダイヤルしないとかからないものもあります。

Q. PBX で電話がかかりません。

- A. PBX で使用する場合、回線の種類の自動判定 (パルスかトーンの判定) がうまく出来ない場合があります。その場合は設定ソフトで使用する回線の種類を「プッシュ回線」か「ダイヤル回線」で指定してください。

Q. 社内の内線が 0 発信ではなく「*0」で外線に発信するようになっています。対応できますか？

- A. 「*0」による外線発信は可能です。設定ソフトの「外線発信番号」ボタンを押して入力すると「0, , 」と電話番号の先頭に入力されます。その後で「*0, , 」に修正してください。「, , 」は 0.5 秒待つという意味ですので待ち時間がもっと必要なら「, , 」を追加してください。

Q. 1 本の電話回線で複数の WL110A を使用したいのですが。

- A. 電話自動転換器を使用すれば可能です。最初に受話器を上げた回線が有効になり、他の回線に割り込ませないことで可能となります。自動転換器は『ナカ電子の NT-325N』を推奨します。

Q. 本体に携帯コネクタが付いていますが、使えますか？

- A. ご利用になれません。付いているだけです。

Q. 装置を取り付けるところに電話が引けないのですが。

- A. 電話回線を新設してご使用下さい。または、FOMA 携帯電話接続タイプをご使用下さい。

Q. 「WL110A」と「WL110D」を区別する方法は？

- A. 電源スイッチを入れて「MON ランプ」が点灯する場合は「WL110D」です。点灯しない場合は「WL110A」です。

Q. 取り付けは素人でも出来ますか？

- A. 侵入通報の用途で、ドアセンサーなどを接続する場合は簡単に取り付けできます。制御盤などに取り付けるときは、電気工事業者にご相談ください。

Q. 屋外に設置したいのですが。

- A. 製品は、防水暴雨仕様ではありません。水滴や、雨、粉塵等に晒される場所では適当なケースに組み込んでください。

Q. 装置を取り付けるところに電源が無いのですが。

- A. 充電された自動車用バッテリーを使うことで長期間の連続利用が可能です。その際には、オプション品の『DC/AC インバータ』をご使用下さい。

Q. どの位の大きさですか？

A. ケーブルや突起部分を除いて、横 90 x 縦 135 x 厚み 35 (mm) です。

Q. 業務用に使った場合に問題はありますか？

A. まったく問題ありません。

Q. 保証はありますか？

A. はい、ご購入後 1 年間です。

Q. 装置の寿命は、どれくらいですか？

A. 故障するケースで最も多いと考えられるのは電話回線や電源からカミナリが入る場合ですが、これはモデム通信装置などでも同様です。防止策としては業務用の回線用避雷器や電源避雷器を組み込むことで改善されます。「WL110A」は内部の部品に機械的な接点を使用していないので、長寿命です。

Q. 付属の充電電池はどれくらいの期間使用できますか？

A. 2 年以上使用できます。もし、停電状態 (AC アダプタのプラグを抜いた状態) にして、停電保証が必要な時間内に電源ランプが暗くなるようでしたら交換が必要です。

Q. マイクやスピーカーは付属していますか？

A. はい、イヤホンマイクが付属しています。

Q. 一般回線用と携帯電話機用の兼用タイプの製品がありますか？

A. ありません。コストダウンの為に別々としました。

Q. 1 つのセンサーを 2 台の WL110A に接続できますか？

A. 2 つの無電圧接点信号を並列に WL110A へ接続する事は可能です。1 つの回線で複数台の WL110A を使用する場合は、自動転換器をご使用下さい。

Q. 1 つの入力接点に 2 つのセンサーを接続できますか？

A. できません。

Q. 付属された AC アダプタとは別の AC アダプタを使用したいのですが。

A. 付属品以外の AC アダプタを使用されますと動作保証外となり、保証が効かなくなりますのでおやめください。

Q. DC アダプタ「DC-ADV01」を使うと停電保証電池に充電が出来ないのですが。

A. はい、出来ません。24 V を 9 V に変換するアダプタを使用すれば可能ですが、付属品以外の AC アダプタを使用されますと動作保証外となり、保証が効かなくなりますのでおやめください。

Q. 以前購入した時と、今回購入した時と付属の AC アダプタが違うのですが。

A. 製造中止や、その他の理由により付属品が変わる場合があります。

Q. 通信ケーブルをなくしてしまったのですが。

A. RS232C ストレートケーブルです。コネクタは D-sub9pin オス-D-sub9pin メスです。パソコン等を取り扱っているお店で購入できます。

Q. イヤホンマイクをなくしたのですが

A. 携帯電話用イヤホンマイク (3 極丸型) です。

Q. 入力 LED が点灯しないのですが

A. COM / GND と入力 1 (又は 2~4) を短絡させて下さい。+V (+V OUT) と入力 1 を短絡させても点灯しません。端子台とケースの印刷を確認してください。

Q. 無電圧接点を 10m くらいの線で入力させても問題ありませんか？

A. 問題ありません。50m までであれば、0.75mm² 以上の線で雷対策 (埋設) を行えばご使用頂けます。誘導雷の混入を防ぐ為に必ず埋設して下さい。

Q. センサー用電圧が出ないのですが？

- A. 「+V」端子は、外部センサーなどの電源に利用するための電源出力ですが、出荷時には電圧が出ておりません。ケースの蓋を開けると、「JP1」のジャンパーがあります。短絡ソケットで「出力無し」、「DC5V」、「アダプタの出力をそのまま」の切り替えができます。42ページの「センサー用電源+V端子」を参照してください。

Q. 2 秒間の無電圧接点出力のあるパッシブセンサーを使用できますか？

- A. できます。700 ミリ秒以上(初期値)の間継続して ON(OFF)の時に、入力変化があったとみなし通報します。この時間は設定ソフトで変更可能です。

Q. チップをバージョンアップしたら動作が変わってしまいました。

- A. 設定ソフトで設定をやり直してください。設定データはバージョンアップ時に交換するチップに保存されています。チップを交換すれば以前の設定データは変わってしまいます。また、音声の録音時間も変わってしまいますので再度、録音してください。

通報・設定についてのご質問

Q. 設定をしたのですが通報がきません

- A. 設定内容で「通報先の電話番号」を入力する際にハイフンはいれなくて下さい。ハイフンを入れると、最初のハイフンまでの番号のみ登録しませんので通報がきません。登録した設定内容を読み込み、確認して下さい。

Q. 音声通報で通報先の電話に出たのに無音のままです。

- A. 通報装置が呼出音（プルル音）を検出できないため、音声の再生が始まらない状態です。コール音（又は着信音）が3回以上鳴ってから電話をとってください。
（通報先が携帯電話の場合のみ）
・通報先の携帯電話がiモード通信中で、音声着信を「着信応答」にしている場合などに「おかけになった電話はただいま呼び出しています。しばらくお待ち下さい。」とアナウンスが流れます。この間、通報先の着信音は鳴っているのに、電話をかけた側には呼出音（プルル音）が聞こえない状態があります。この場合、通報先では5回くらい呼出音を鳴らしてから電話に出ないと、正常通報になりません。
・通報先の携帯電話が『メロディコール』（ドコモ）又は『待ちうた』（au）サービスに契約されていると、電話をかけた側には呼出音がプルル音に音楽が混じって（又は音楽のみ）聞こえます。この場合、通報先の携帯電話機から設定変更すれば正常通報します。着信電話番号（通報装置から発信する番号）の設定をプルル音に変更して下さい。

Q. タダ電通報で呼出音が鳴る回数を指定したい

- A. できません。呼出音が鳴ったと判定されたら電話を切ります。通報先の電話機の着信履歴に残すことを目的にしています。

Q. 携帯電話にタダ電通報をしていると何回も通報してくるのですが。

- A. タダ電通報は呼出音が聞こえたら正常通報となりますので、呼出音が聞こえない状態では何回も電話をかけてしまいます。例えば通報先がドライブモードにしていると、呼出音が鳴らずにアナウンスだけが流れます。また、留守番電話サービスの呼出音の鳴る回数を0回にしている場合、呼出音が鳴らないので何回も電話してしまいます。

Q. 接点毎に異なる通報先を指定したいのですが？

- A. できません。

Q. 現在使われていない電話番号に通報するとどうなりますか？

- A. 通報装置は、登録された電話番号が正しく設定されているかどうか認識できません。従って、誤った電話番号を登録されると内容によっては多額の電話代がかかったりする場合があります。ご利用の前には設定後に動作試験を必ず実施してからご使用下さい。

Q. 発信者番号を通知するには？

- A. 音声通報、タダ電通報の場合は、通報先の電話番号の先頭に「186」を入力してください。携帯メールの場合は「186」を入力しないで下さい。

Q. 定期通報のくる時間がずれてくる

- A. WL110Aにはタイマーが内蔵されていないので、どうしてもずれが生じます。電源を入れた時から時間をカウントしますので、定期的に電源を入れ直す（電源を切って3秒以上待ってから電源を入れて下さい）と、ずれが少なくなります。

Q. 1回の通信に要する時間はどれくらいですか？

- A. 文字メッセージで通報するときは、文字数により通話時間が変わります。全角1文字送信するのに2秒、半角1文字送信するのに1秒かかります。10文字の全角文字メッセージを送信する場合は、電話をかけたり、切ったりする時間を含めて40秒程度です。音声通報の場合は受けた側が電話を切るまでです。

Q. 接点入力と音声通報のメッセージが違うのですが

- A. 取扱説明書の32ページ「録音再生」を見ながらチャンネルとメッセージの録音が正しいか再生して確認して下さい。

Q. 通報を受けたとき、入力信号のどれがONになっても同じメッセージが聞こえるのですが

- A. メッセージ録音時に、録音チャンネル0だけで録音していませんか。取扱説明書の32ページ「録音再生」をご覧になり設定方法を確認して下さい。

Q. 通報時にノイズが入るのですが。

- A. 入力接点に接続してあるものを外してください。制御盤に取り付けられている場合は本体も外してください。それらを外してノイズが出なければ、外部からノイズが入っている可能性があります。また、モジュラーケーブルもノイズの影響を受けますのでシールドしてみてください。また、接点から直接ノイズが入っている場合にはリレーを入れるなどしてノイズが入らないようにしてください。

Q. 誤動作などで電話代が多く請求されるようなことはありませんか？

- A. 1. 電話の仕組みとして相手が電話に出なければ当然電話代はかかりません
 2. 電話を受けた側が電話を切ればその時点から電話代はかかりません
 3. ショートメッセージセンターに電話をかけたときには一定時間が経過するとサービス会社の側から電話を切りますので、それ以上電話代はかかりません。但し、通報先の設定が SMS メールを受信出来ない番号(ショートメッセージサービス拒否設定になっている、解約等で番号が存在しなくなった、その他)の場合でリダイヤル回数が無制限の時、多額の電話代が請求される事がございます。必ず設定時に通報先で受信を確認して下さい。また通報先に登録してある携帯電話の解約時は、通報装置の設定変更を行ってください。SMS メール受信が出来ない電話機に対する SMS メール通報によって多額の電話代が請求された場合、弊社は一切その責任をおいかねますので、あらかじめご了承ください。
 4. リダイヤル回数も設定できますので安心です。
 上の 2 番目の場合に受話器を正しく戻さなかったときでも一定時間(120 秒)経過すると電話を切るようになっていきます。いずれの場合であっても誤動作によって電話代が多くかかることはありません。安心してご利用ください。

Q. 停電保証時間を超えてから復電した場合、復電通報を行いますか？

- A. 行いません。停電保証時間を超えてから復電した場合、電源を ON し直した時と同じ状態です。

Q. 停電通報はありましたが、復電通報が 12 時間も遅れてきました。なぜでしょうか？

- A. 通報先が複数あり、全て「必ず通報する」にしてあり、停電発生 of 通報が終了していなかったのではないのでしょうか。全て「必ず通報する」にしてある場合、1 ヶ所でも通報が終わらなければ永遠に通報しようと電話をかけ続けます(リダイヤルの設定による)。停電発生 of 通報が終了できないため、復電しても復電通報が来ないということになります。「必ず通報する」の設定をする通報先は、確実に電話を受けられる番号だけにしてください。夜は電源を切ってしまう携帯電話などを通報先に設定していると、この様なことがおこります。

Q. 停電通報だけ電話がかかりません。

- A. バックアップ電池の充電が不十分な場合、AC アダプタを抜くとランプは点灯しても電話をかけることができません。出荷時には付属のバックアップ電池には充電が十分されていませんので、本体を 72 時間通電させてください。バックアップ電池の充電が行われます。そのあとで停電通報させてみてください。

Q. 音声録音再生はどのようにして行うのですか？

- A. REC・PLAY・STOP の各ボタンと録音再生中を示すランプがあって、普通のテープレコーダーのように使います。本体上面に 3 つのボタンがあり、録音する場合は「REC」と「STOP」ボタンを、再生する場合は「PLAY」ボタンを押して、付属のイヤホンマイクで録音します。

Q. 音声録音された内容をイヤホンで再生したとき、前より音質が悪くなりました。

- A. AC アダプタを使わず、内蔵電池のみで使った場合に電池の残り電圧が不足していると音質が悪くなります。

Q. 通報を受けたとき音声ですぐに再生されません。

- A. 通報先が電話に出たのか判定するのに呼出音が 3 秒以上聞こえないことを確認している為です。呼出音が鳴るタイミングにもよりますが、受話器をあげてから 1 秒~3 秒後に音声メッセージが流れ始めます。

Q. 電話に出ても何回も通報してきます。

- A. 録音をやり直すか、他の人に録音してもらってください。録音するとき音声の後に無音状態を 2 秒入れておく と 解決する場合があります。WL110A は、呼出音が鳴らなくなったのを確認して相手が電話に出たと判断します。また話中音が聞こえるのを確認したら、相手が電話を切ったと判断します。すべて音で判定しているため、録音された音声に呼出音や話中音と同じ 400Hz 前後の音が混じっていると、正確に判定できない場合があります。

Q. 呼出音が鳴りすぐ受話器を取ると、また電話がかかってくる

- A. 呼出音を 3 回以上鳴らしてから受話器を取ってください。受話器を取るのが早すぎると、回線異常とみなし、もう一度電話をかけてきます。

Q. リダイヤル回数を1～9回に設定して、「必ず通報」を設定している場合はどうなりますか？

- A. 「必ず通報」に設定してあっても、リダイヤル回数が設定してある場合（1～9回）はリダイヤル回数が優先になります。

（通報例1）

設定内容・・・通報先 ・一般回線（1カ所） ・必ず通報 ・リダイヤル回数 9回

通報先が話し中の場合 → リダイヤルを9回した後、通報を終了しました。

（WL110Aが通報を始めてから3分で終了）

（通報例2）

設定内容・・・通報先 ・携帯電話機（1カ所） ・必ず通報 ・リダイヤル回数 9回

通報先が圏外（電源OFF）の場合 → リダイヤルを9回した後、通報を終了しました。

（WL110Aが通報を始めてから8分で終了）

※リダイヤル回数を設定しますと、上記のようにリダイヤルが数分で終了してしまい、正常に通報が出来ない事が起こります。 **通常リダイヤル回数は「制限無し」の設定でご使用される事をおすすめします**

Q. 通報先の電話に誰も出ない場合はどうなりますか？

- A. 電話をかけ、30秒間呼出音を鳴らして、電話を切ります。10秒待機して、また電話をかけます。以後その繰り返しです。（リダイヤルの設定による）

Q. 停電通報が来ないで復電通報だけ来ました。なぜでしょうか。

- A. 使用している電話回線は停電時にも使用できる回線であるか確認してください。また、設定でリダイヤル回数を設定していないか確認して下さい。

交換機やルータ、TA（ターミナルアダプタ）など使用している場合、それらの機器が停電時に使用できなくなれば電話回線が使用できなくなるため停電通報が来ない現象が発生します。

携帯メールについてのご質問

Q. 携帯メール（文字メッセージ）通報とは

- A. ドコモの『SMS（ショートメッセージ）』サービスを使用した文字メッセージ通報です。『SMS（ショートメッセージ）』とは、携帯電話、PHS、一般回線電話などのプッシュトーンを送れる電話機から、ドコモの携帯電話へ文字メッセージを送るサービスです。

※電子メール（Eメール）ではありませんので、パソコンやドコモ以外の携帯電話機では受け取れません。

※WL110A からドコモのショートメッセージセンターへメッセージを送ります。

- ・最大文字数 全角半角にかかわらず 50 文字
- ・センター保存 72 時間
- ・発信者番号 通知可
- ・WL110A で使用可能な文字コード フリーメッセージ(*2*2)、句点コード(#)

Q. 携帯メールで通報させる設定をしたのに、通報できません

- A. ・設定ソフトの「携帯メールセンター」が「ショートメール（NTT ドコモ）」を選択されているかご確認ください。
 ・「通報先の電話番号」の先頭に「186」が入力しないで下さい。
 ・「通報先の電話番号」が下記のような SMS メールを受信出来ない電話番号を設定していないかご確認ください

1. 固定電話番号
2. 使用されていない携帯電話番号
3. ドコモ以外の携帯電話番号
4. SMS 受信を拒否設定している携帯電話番号

*上記の電話番号を入力していると、多額の電話代が請求される場合がございます。（リダイヤル回数を「無制限」に設定してある場合）

SMS メール受信が出来ない電話機に対する文字メッセージ通報によって発生した多額の電話代請求について、弊社は一切その責任をおいかねますので予めご了承下さい。

Q. ドコモの携帯に半角の小さいカタカナ「アイウエオヤユヨツ」を送信したい

- A. できません。全角の小さいカタカナ「アイウエオヤユヨツ」なら送信できます。

Q. 通報先を SMS メールにしていると遅れて通報されることがあるのですが。

- A. 携帯電話の SMS メール自動受信は送信所から一度しか送信されません。また、定期的に再送されることもありません。何かのキッカケ（アクション）があると、そのときに未通知のメールが届きます。原因は電波の具合が悪く、たまたま届かなかったものと考えられます。各所にある送信アンテナを自動判別するようになっています。このため、山の山頂などでは不具合の発生率が高くなります。たまたまメール通知の電波が来たとき、電波のある程度強い場所でも、運悪くすぐ近くでたくさんの携帯電話が使われている場合など電波が分散されてしまい、遠くの送信アンテナを探しに行ったりします。滅多にはないことだと思いますが、電波を使う上で完全なものとはならないこともあります。

Q. 携帯メールのメッセージが文字化けするのですが

- A. 受信装置がメッセージを受信したとき、なんらかの電波ノイズが混入したときに起きる可能性があります。また、送信するメッセージが長すぎると文字化けしやすくなります。メッセージを短くしてみてください。

メール送信システムについてのご質問

Q. メール送信システムの使用料金はかかりますか

- A. サービスと登録は無料となっておりますが、通報時の弊社サーバーまでの通話料はお客様負担となっております。日本国内(離島を除く)から通報する場合は、1つの通報について10円程度かかります。通話時間は、28秒以下です。

Q. 通報を開始してから、メールが届くまでどのくらいかかりますか

- A. 通報装置が通報を終わってからメールが届くまでに要する時間は、概ね6~8秒です。但し、経由するサーバーの負荷によってこれ以上時間がかかることがあります。

Q. 登録はどのようにするのですか

- A. ホームページの「メール送信システム」ページにある「利用契約」をお読みになり、登録シートのダウンロード画面で該当する機種の登録シートをダウンロードして下さい。登録方法は登録シートに記載されています。

Q. 登録後にメッセージ内容などを変更できますか

- A. ご登録後の変更は可能です。ご登録が完了しますと、ご担当者様へ登録完了メールが届きます。この時に、添付される登録シートを使って変更頂けます。ご登録時と同じように、メールに添付してお送り下さい。識別コードは、通報装置に対して登録しますので、電話回線を変更される場合は「接続する電話番号」を変更して下さい。

Q. 通報先へメールが届きません

- A. 1. ユーザー登録はお済みでしょうか？
ホームページの「メール送信システム」ページにある「利用契約」をお読みになり、登録シートのダウンロード画面で該当する機種の登録シートをダウンロードして下さい。登録方法は登録シートに記載されています。
2. 通報装置の設定はお済みでしょうか？
登録が完了しますと、弊社より『識別コード』を指定しますので、通報装置に設定して下さい。
3. 「送信メッセージ編集」内容を「IN1」または「IN1 ON」以外にしていますか。
4. ユーザー登録の「接続する電話番号」と違う電話回線に通報装置を接続していませんか。
通報装置を接続している電話回線の番号を登録して下さい。
5. メールを受信される側で、パソコンからのメール受信を拒否もしくは迷惑メール拒否をされていないか確認して下さい。弊社のメール通報システムは、専用サーバーからLANを通して光ケーブルで高速配信している為、送信元はパソコンと同じ扱いになります。
『whitelock@adocon.co.jp』からの受信許可設定を行って下さい。
※通報装置をNTTの「ひかり電話（光IP電話）」に接続している場合、このシステムへの通報は出来ません。

Q. 御社より送信エラーのお知らせがきました

- A. 通報先側で、パソコンからのメール受信を拒否もしくは迷惑メール拒否をされていないか確認して下さい。また、登録されたメールアドレスが変更されていないか確認下さい。送信エラーが続き、ご担当者様より連絡を頂けない場合は、「利用契約」に基づきこちらで登録を削除させて頂く場合がありますのでご了承下さい。

設定ソフトについてのご質問

Q. USB 変換ケーブルで転送（又は読み込み）出来ない

- A. ・USB 変換ケーブルのドライバがパソコンに入っているか確認して下さい。
・通信ポートを確認して下さい。

設定画面内にある「通信ポート設定」を開き「通信ポートを自動的に検出する」のチェックを外します。そして「通信ポート指定」にある空 COM にチェックを入れて下さい。（使用可能な COM のみチェックが入る様になっています）

Q. 設定データが転送（又は読み込み）出来ない

- A. ・通信ポートを確認して下さい。

設定画面内にある「通信ポート設定」を開き「通信ポートを自動的に検出する」のチェックを外します。そして「通信ポート指定」にある空 COM にチェックを入れて下さい。（使用可能な COM のみチェックが入る様になっています。）

- ・通信ケーブルは付属のケーブル（又は『9 ピンのストレート』）か確認して下さい

購入時に付属している通信ケーブルは『9 ピンのストレート』です。市販されている物には『9 ピンのクロス』もございます。『9 ピンのクロス』では転送出来ません。（これらの区別は見た目では分かりません。テスターで確認して下さい。）

Q. 設定を転送するときに「バージョンが合いません」と表示されます

- A. 本体と設定ソフトのバージョンの組み合わせが正しくない場合表示されます。バージョンを確認してください。バージョンが正しいのに表示される場合は、通信が正常に行われていない可能性があります。「通信ポート設定」で、「通信ポートを自動的に検出する」のチェックを外して、直接使用するポートを指定してください。

Q. 設定ソフトは、Windows で使用できますか。

- A. Windows XP /7 で動作します。

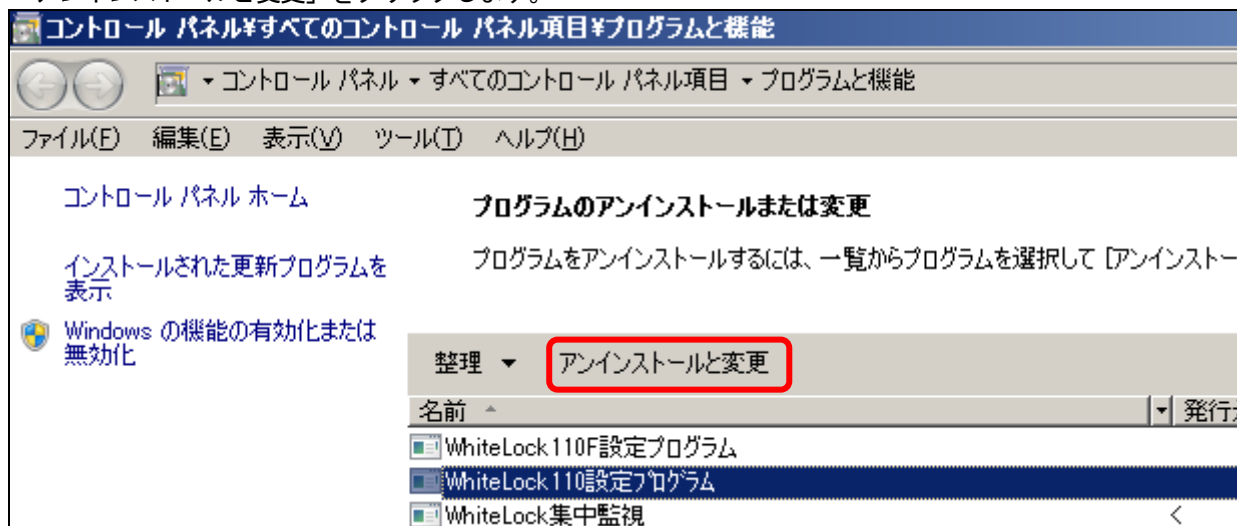
Q. 設定ソフトはついていないのですか？

- A. はい、ついていません。弊社ホームページからWhiteLock110の「設定ソフト」をダウンロードし、任意のドライブに保存した後、ダブルクリックして実行してください。セットアッププログラムが実行されます。設定方法については13ページの「設定ソフトのインストール」からご覧下さい。

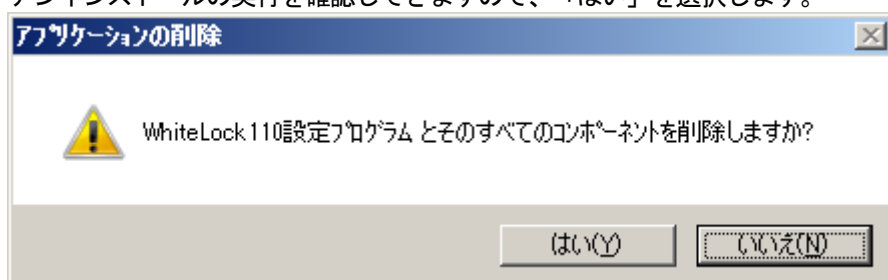
こんなときには

設定ソフトウェアのアンインストール

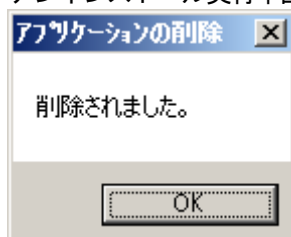
[スタート]メニューの[コントロールパネル]の「プログラムと機能」を選択します。該当する設定プログラムを選択し、「アンインストールと変更」をクリックします。



アンインストールの実行を確認してきますので、「はい」を選択します。



アンインストール実行中画面です。



※アンインストールを実行しても、インストールしたフォルダ（例：C:\Program Files\WL110）は自動削除されません。WL110のフォルダを手動で削除してください。

本体を清掃するときは

本体のよごれは、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く拭いてください。ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、有害なガスが発生したり、変形や変色の原因になることがあります。

仕様

「WhiteLock110A」 本体

形式	音声及びDTMF呼出方式非常通報装置
適用回線	NTT仕様のアナログ電話回線(2線式)
回線接続方式	通信コネクタ (モジュージャック)
選択信号種別	プッシュボタン (PB) または、ダイヤルパルス (DP:20PPS)
動作設定	専用パソコンソフトで設定条件等をシリアル転送する
信号入力点数	4点 (無電圧接点またはオープンコレクタ)
停電復電検出機能	本体内部に停電復電検出機能搭載
自動発信	入力変化
携帯メール発信	可 (英数カナ漢字でメッセージを送出)
話し中検知機能	あり (話し中及び通信が確立しないときにリダイヤル)
音声録音方式	圧縮無し直接録音方式
音声録音時間	8チャンネル装備。1チャンネル20秒、合計160秒
音声メモリバックアップ	不要 (フラッシュメモリー)
録音再生方法	イヤホンマイクを装備。録音・停止・再生ボタンによる
停電保証	内蔵電池により、2時間以上
制御CPU	8ビットCPU
外部インターフェース	シリアル9ピン(EIA-574)
電源	ACアダプタ AC100V 50/60Hz 5W
動作温度範囲	0℃～40℃
動作湿度範囲	15%～80% (結露なきこと)
周囲環境	腐食性ガスなきこと。 粉塵等汚れの激しい場所での使用は、カバー等で保護して下さい。
呼出電話番号設定	最大6カ所、ダイヤル桁数24桁
停電保証充電電池	006P DC9V ニッケル水素充電電池
寸法 (mm)	135 (W) × 90 (H) × 35 (D)
重量	重量 約 230g (電池込みの本体重量)
動作電圧	9.5V～10.0V
消費電流	50mA (最大110mA)

設定ソフトウェア

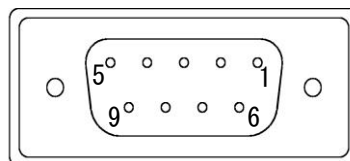
型式	WhiteLock 110 設定ソフトウェア
動作環境	Windows XP Windows 7 日本語のみ対応 メモリ 64M以上 ディスク空き容量 7M以上

インターフェース仕様

コネクタの形状は、9 ピン仕様の EIA-574 です。

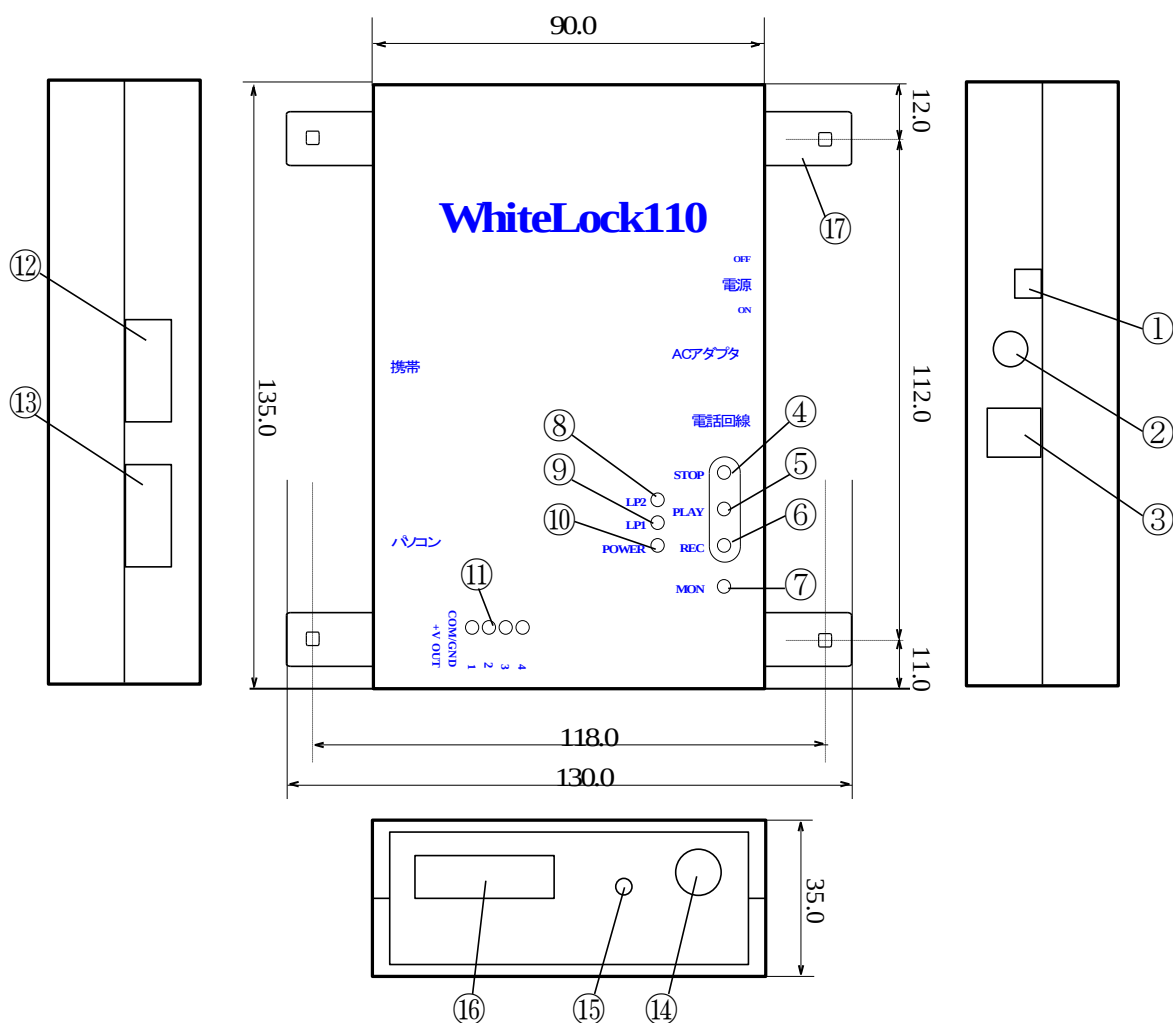
ピン記号	信号
1	CD
2	RD
3	TD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	RI

ピン番号は製品本体側を示す



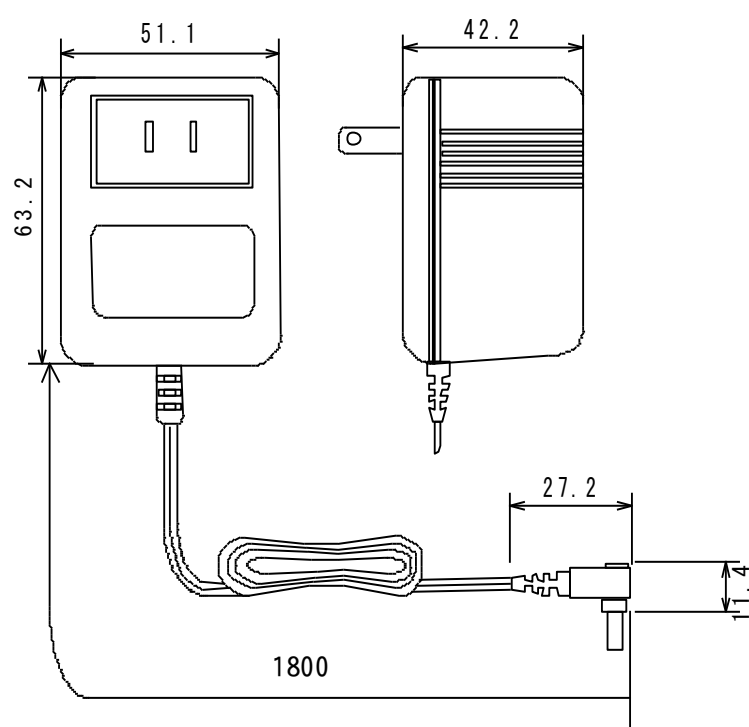
設定に使用するパソコンが、このコネクタを装備していない機種の場合（PC-9800 シリーズ等）は、別途変換コネクタ（D-SUB25 ピン → D-SUB9 ピン）をお買い求め下さい。

外形図



1	電源スイッチ	10	電源ランプ
2	電源直流入力コネクタ	11	入力信号モニタランプ
3	電話回線モジュージャック	12	携帯ケーブル接続コネクタ
4	録音再生・停止押しボタンスイッチ	13	設定用シリアルコネクタ
5	録音再生・再生押しボタンスイッチ	14	録音再生・チャンネル切替スイッチ
6	録音再生・録音押しボタンスイッチ	15	録音再生用イヤホンマイクジャック
7	動作モニタランプ	16	外部信号入力端子
8	動作ランプ LP2	17	取付足
9	動作ランプ LP1		

ACアダプタ外形図



付録

文字コード

フリーメッセージ

		2桁目									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1桁目	1	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	D	E
	2	カ	キ	ク	ケ	コ	F	G	H	I	J
	3	サ	シ	ス	セ	ソ	K	L	M	N	O
	4	タ	チ	ツ	テ	ト	P	Q	R	S	T
	5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	U	V	W	X	Y
	6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	Z	?	!	-	/
	7	マ	ミ	ム	メ	モ	¥	&	⌚	☎	☑
	8	ヤ	(	⌚	)	ヨ	*	#		♥	
	9	ラ	リ	ル	レ	ロ	1	2	3	4	5
	0	ワ	ヲ	ン	ゝ	ゞ	6	7	8	9	0

半角大文字英字、大文字カタカナ、数字、一部の記号が使えます。

「*2*2」に続いて1桁目、2桁目をダイヤルする文字です。

SMSメールで78(時計)、70(コップ)の文字は使用できません。

※パソコンで直接入力できない文字を使用する場合、78(時計)は「⌚」、79(電話)は「☎」70(コップ)は「☑」、89(ハート)は「♥」を入力してください。

区点コード

全角文字です。「#」に続いて4桁の数字をダイヤルする文字です。

使用できる文字は携帯電話の取扱説明書の区点コード一覧を参照してください。

バージョン

WL110A	取扱説明書	設定ソフト	日付
Ver1. 08	Ver1. 02	Ver1. 0. 2	2004/04/21
	Ver1. 03		2004/06/01
	Ver1. 04		2004/06/28
	Ver1. 05		2004/07/01
	Ver1. 06	Ver1. 0. 2	2004/07/16
	Ver1. 07		2004/10/01
	Ver1. 08		2004/10/13
	Ver1. 09		2005/03/31
	Ver1. 11		2006/02/06
	Ver1. 12		2006/03/01
Ver1. 11	Ver1. 13	Ver1. 0. 3	2006/11/21
	Ver1. 14	Ver1. 0. 4	2007/09/07
	Ver1. 15		2008/05/08
	Ver1. 16		2008/12/01
	Ver1. 17		2010/08/24
	Ver1. 18		2010/11/12
	Ver1. 19		2011/11/10
	Ver1. 20		2011/12/26
	Ver1. 21		2013/08/06
	Ver1. 22		2013/08/16
	Ver1. 23		2014/01/31

更新履歴

Ver1.02 2004/04/17

- ・作成

Ver1.03 2004/06/01

- ・携帯メールの手順文字列を修正
- ・蓋を開めるときの注意点を追加
- ・Q&A を修正。

Ver1.04 2004/06/28

- ・携帯メールの手順文字列を修正

Ver1.05 2004/07/01

- ・録音時の説明を追加
- ・Q&A を追加。

Ver1.06 2004/07/16

- ・クイックキャストは未対応とした。

Ver1.07 2004/10/01

- ・au の C メールに関する項目を削除。
- ・通報の種類／タダ電通報での料金を取られる場合の説明を追加
- ・端子台コネクタの仕様を修正。
- ・「オプション電源」の名称を「センサー用電源出力」に変更
- ・Q&A を追加。

Ver1.08 2004/10/13

- ・例として載せていた電話番号を XXX に変更。

Ver1.09 2005/03/31

- ・携帯電話への充電関係の説明を修正。
- ・住所を変更

Ver1.11 2006/02/04

- ・ホームページアドレスを追加。

Ver1.12 2006/03/01

- ・Q&A 追加、安全にお使いいただくために追加(電話番号の誤った登録についての注意)。

Ver1.13 2006/11/21

- ・Q&A 追加、安全にお使いいただくために追加(電話番号の誤った登録についての注意追記)。

Ver1.14 2007/08/31

- ・随所細かいところの修正。

Ver1.15 2008/05/08

- ・雷による故障について追加。
- ・D タイプの使用できる携帯電話機をドコモのムーバに書き換え。
- ・A タイプの使用できる回線に ADSL・IP・ひかり電話を追加。
- ・ドコモショートメールに「SMS」の追加とスカイメール・スカイメッセージの削除。
- ・通報先に内線がある場合を追加。
- ・携帯メールセンターの編集を削除。
- ・早取り機能を自動転換器に変更。
- ・動作モニターページなど見やすいよう配置等変更。
- ・Q&A をホームページと並びや内容を揃えた。クイックキャストは削除。

Ver1.16 2008/12/01

- ・A タイプ専用の取扱説明書に作成。

Ver1.17 2010/08/24

- ・取付足の画像と取付穴図を追加。
- ・AC アダプタの外形図を追加。
- ・ナカ電子の自動転換器を推奨品として掲載。
- ・定期通報とリダイヤル回数についての補足。
- ・その他細かいところの修正。

Ver1.18 2010/11/12

- ・SMS 削除
- ・ショートメールサービス終了のお知らせ
- ・内部回路図修正

Ver1.19 2011/11/10

- ・設定ソフトの仕様に Windows7 を追加
- ・その他細かいところの修正
- ・ナカ電子の自動転換器を販売品と追加
- ・AC100V が無い環境での使用について、DC/AC インバータを追加
- ・ソフトウェアの CD-R からのダウンロード方法に補足。

Ver1.20 2011/12/26

- ・設定ソフトの仕様で Windows7 を削除（使用出来ない為）

Ver1.21 2013/08/06

- ・取扱説明書サイズを A5 から A4 に変更
- ・索引の追加
- ・表記ページへのリンクを追加
- ・通報の状態を表す図を差し替え
- ・外観図にリンクを追加
- ・メール送信システムの設定方法を詳しく追加
- ・SMS（ショートメッセージ）通報の設定方法を詳しく追加
- ・設定ソフトの動作環境で、WindowsVista は社内での動作確認が出来ない為、削除
- ・Windows98、WindowsMe、Windows2000 のサポートは終了した事を追加
- ・Q&A のフロッピーからのインストールを削除

Ver1.22 2013/08/16

- ・メール送信システムの通報先電話番号が間違っていた為、訂正

Ver1.23 2014/01/31

- ・設定ソフトウェアの Windows7 対応についてを追加
- ・出荷時の録音メッセージ内容を追加
- ・接点仕様の説明で「入力有り」を「警報発生」へ、「入力無し」を「警報解除」へ変更
- ・信号入力の内部回路図を他製品と統一

索引

A

AC アダプタ 43
ADSL 回線 8

I

IP 電話 8
ISDN 回線 8, 41

P

PBX 11

S

SMS メール 18, 25

あ

アナログポート 8

い

イヤホンマイク 32
インストール 13

お

音声通報 18

か

解除呼出 23, 26
外線発信番号 17

く

区点コード 63

け

警報解除 36
警報発生 36

こ

個別解除呼出 37

し

自動転換器 41
信号入力内部回路 44

せ

清掃 59
設定ソフト 16
接点仕様 24
全解除呼出設定 36
センサー用電源 43

そ

送信メッセージ 24

た

ダイヤル回線 1, 8, 46
タダ電通報 19

ち

チャンネル切替スイッチ 33

つ

通信ポート 27
通報先 17
通報終了条件 21

て

定期通報 22, 38
停電 23, 26, 38
停電保証 48
転送 27
電話回線 8

と

動作モニタ 46
トーンモデム 19, 25

な

内蔵電池 48

ひ

ビジネスホン回線 1, 8

ふ

復電 23, 26, 38
プッシュ回線 1, 8, 46
プラスチック取付足 41, 42
フリーメッセージ 63

ほ

ポート 30
ホームテレホン回線 1, 8
本体バージョン 29

め

メール送信システム 20, 26, 45

り

リダイヤル 22, 40

る

留守番電話サービス 20

ろ

録音再生 32

WhiteLock110A

取扱説明書

Ver 1.23

2014 年 01 月

発行元 株式会社 アドコン

<http://www.adocon.jp>

〒690-2101 島根県松江市八雲町日吉 3-24

TEL (0852) 54-2036 FAX (0852) 54-2196